

わかりやすい 藤沢市の財政

2016

平成28年度予算と平成26年度決算から
藤沢市の財政状況を見てみよう



藤沢市の財政状況を
わかりやすく
解説しました。

藤 沢 市



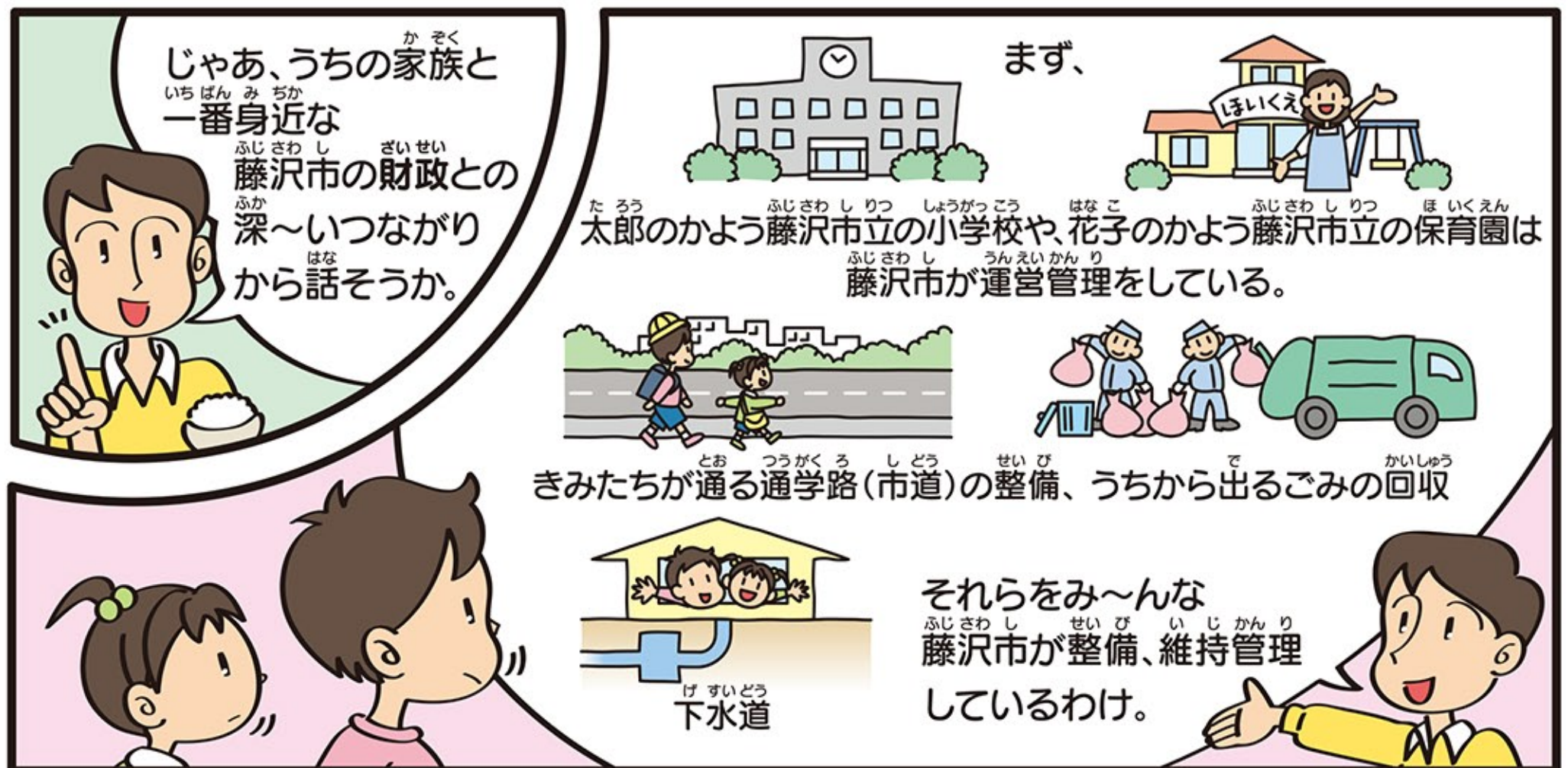
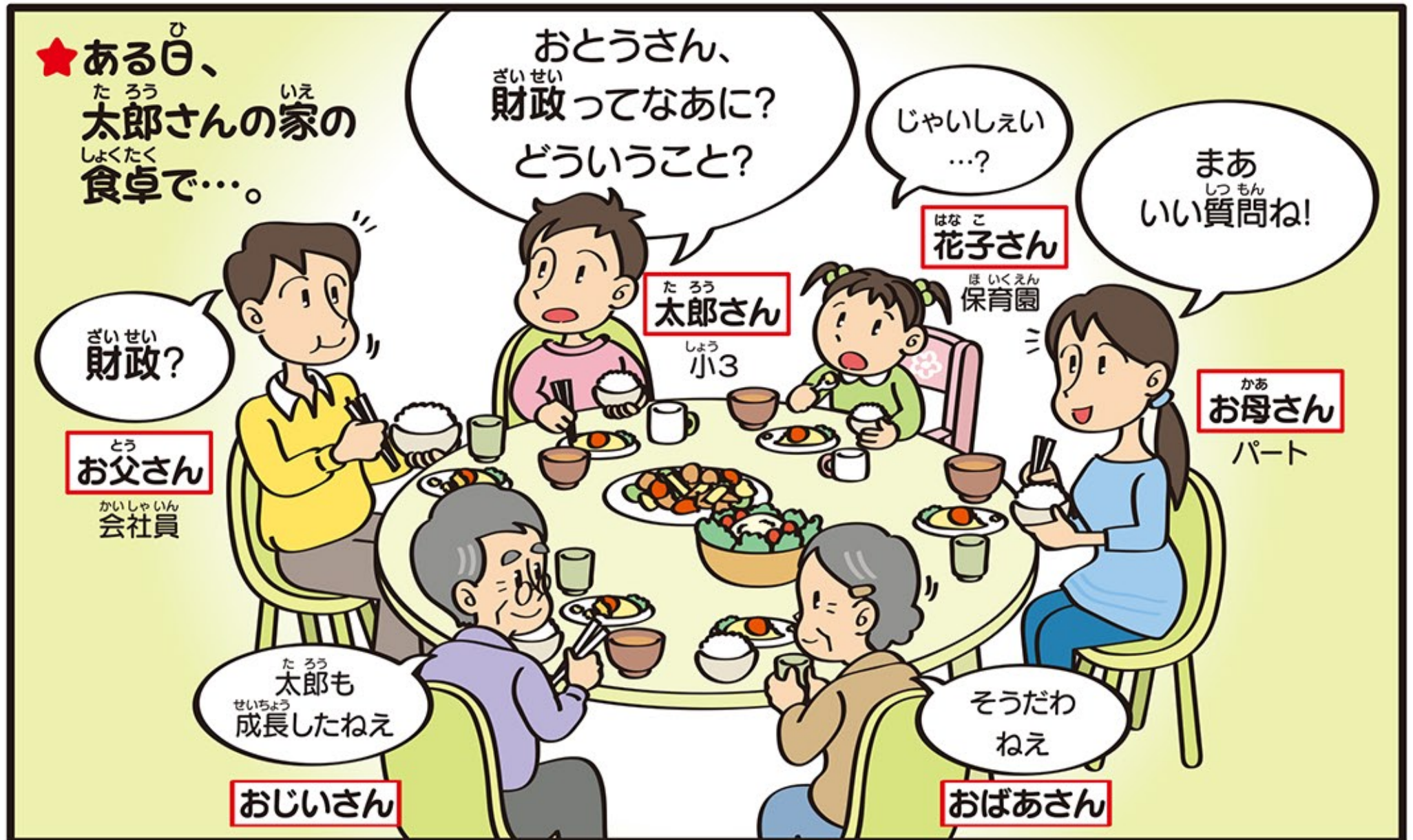
- もくじ
- 1 みんながわかる財政のはなし(入門編) … 1
 - 2 もっと知りたいあなたに
平成28年度予算を見てみよう …… 7
 - 3 藤沢市の台所事情は? ……12
 - 4 藤沢市の借金はどうなっているの? ……17
 - 5 藤沢市の貯金はどれくらい? ……21
 - 6 これから先も
藤沢市の財政は本当に大丈夫なの? …22
 - 7 財務書類4表でわかる藤沢市の財政状況 …23
 - 藤沢市の借金時計 ……裏表紙

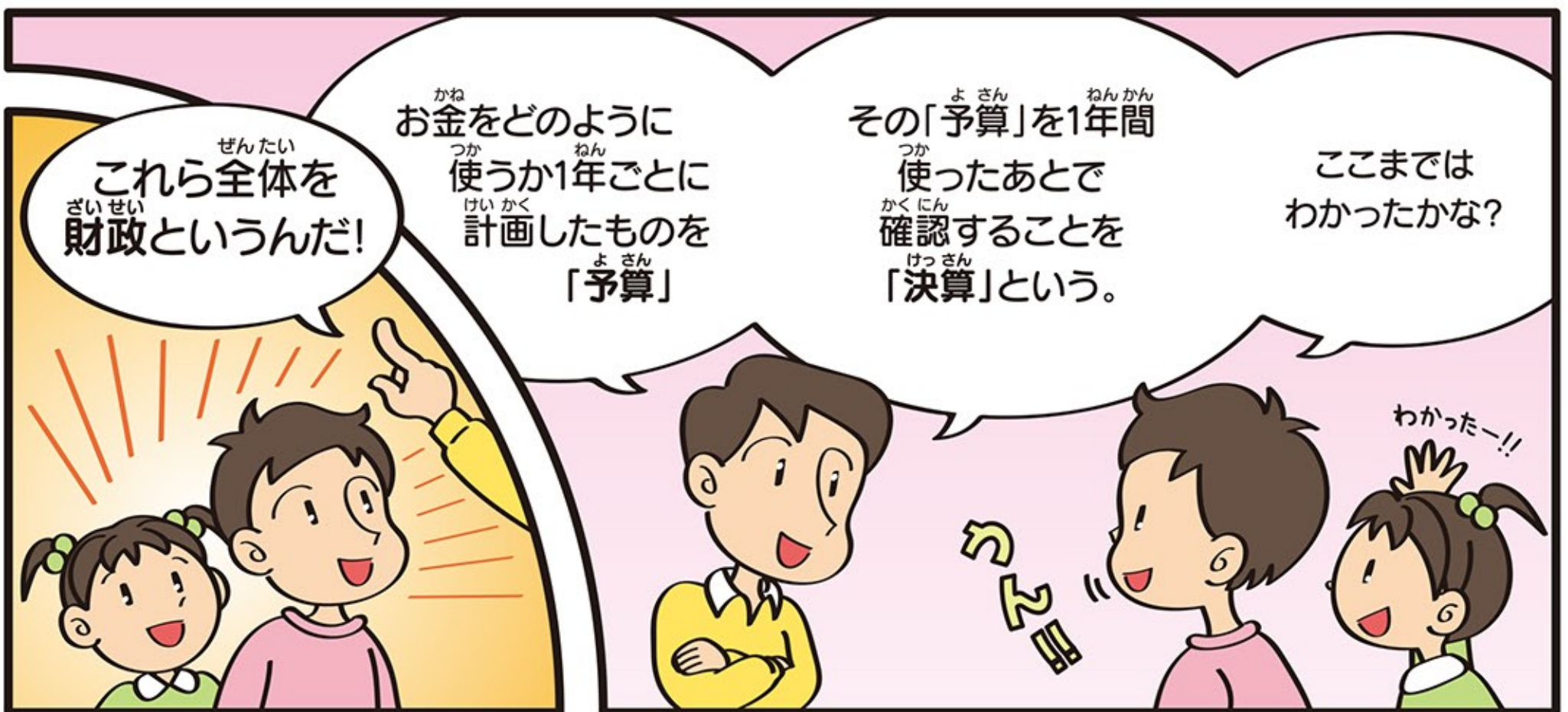
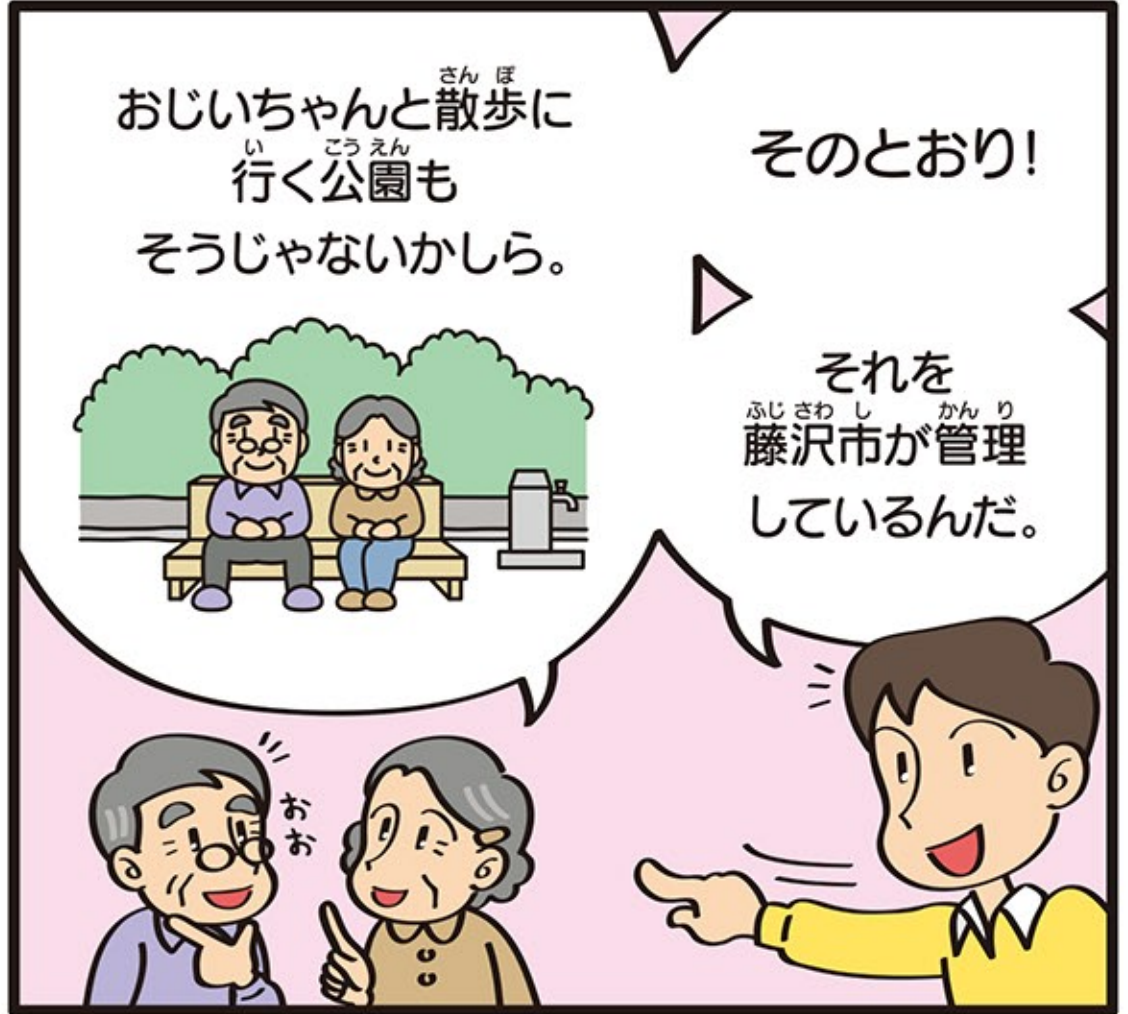
1

みんながわかる財政のはなし ざいせい 入門編 にゅうもんへん

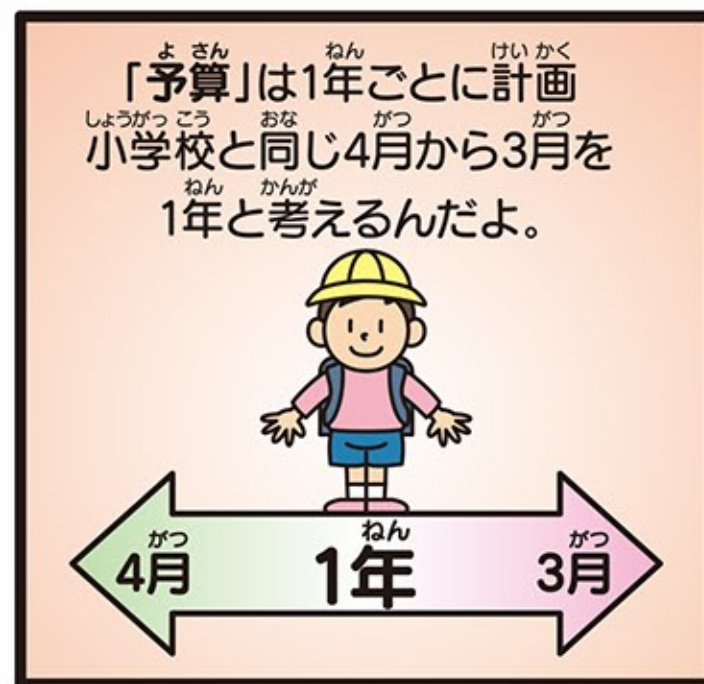
みなさんは「財政」ということばを聞いたことがありますか？ 藤沢市の「財政」はみなさんの生活と密接に関係しているといえます。ここでは、主人公 藤沢太郎さん(小学3年生)と太郎さんの家族の生活をとおして、藤沢市の「財政」がどういうものかをみてみます。

1 「財政」ってどういうこと？





2 「予算」ってどうやって決めるの？



ここで問題です!

Q1. 神奈川県には、横浜市や川崎市などの大都市も 含めて19の市がありますが、 藤沢市の「一般会計」の「予算」の額の多さは 19市のうち何番目でしょうか?

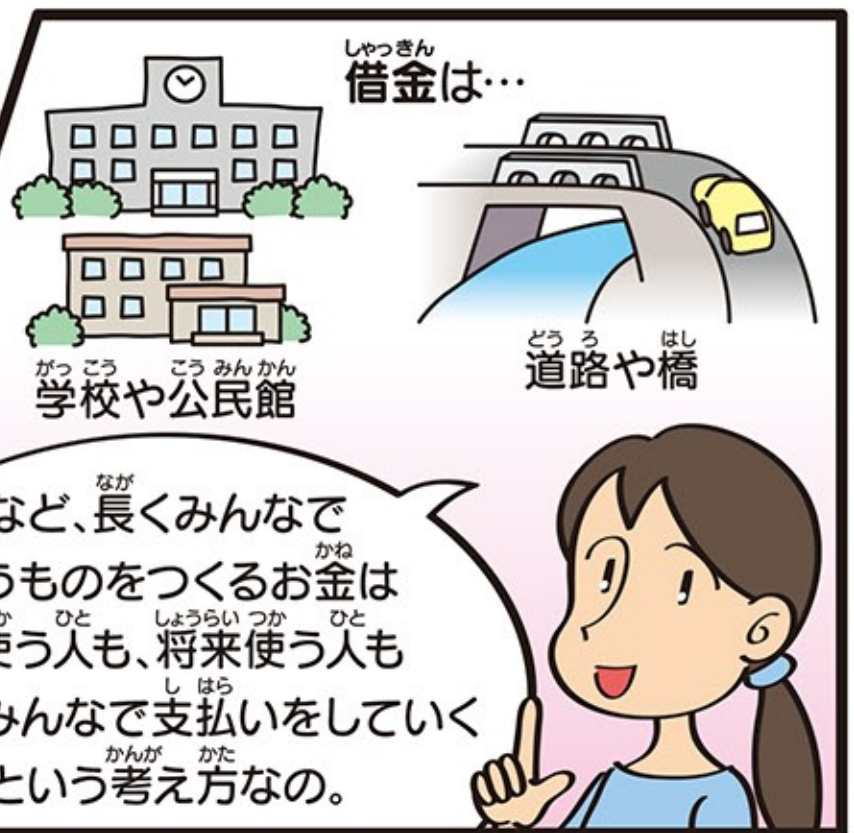
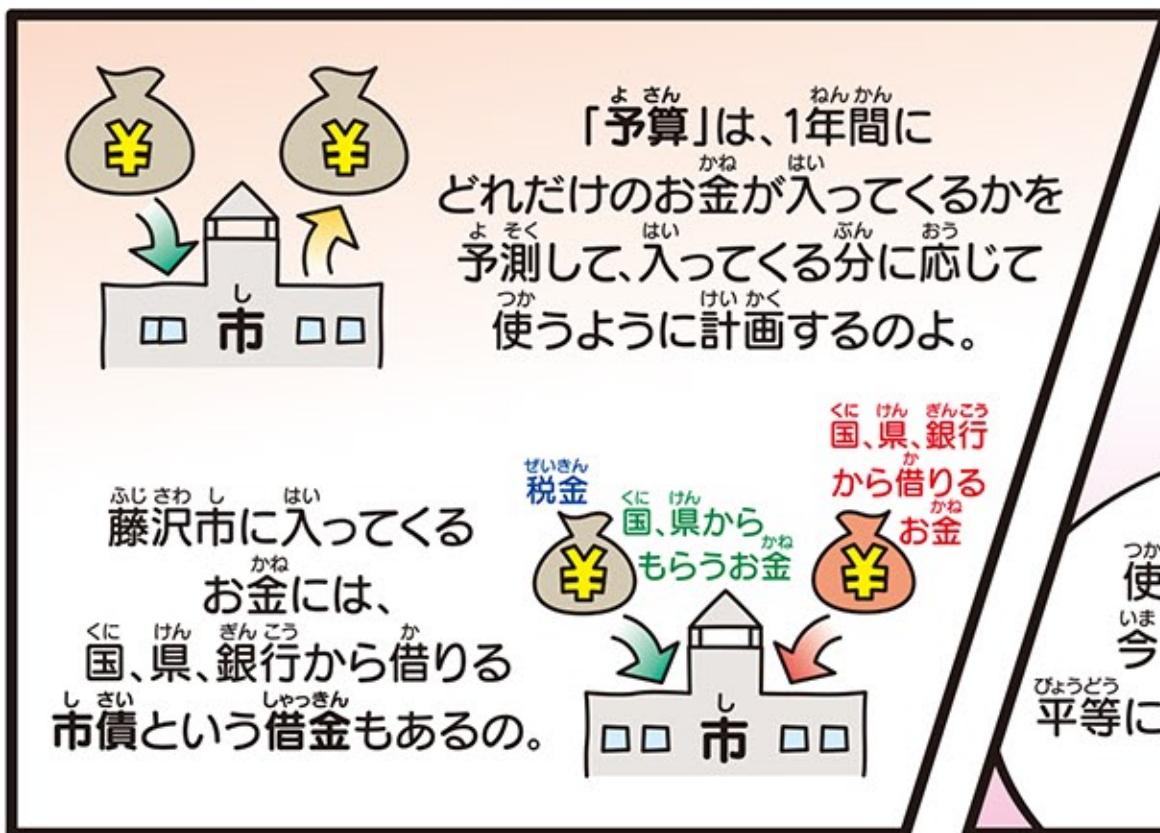
- ①1番目 ②5番目 ③10番目

クイズのこたえは、このページの下にあります。



Q1のこたえ：② 横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市に次ぐ5番目です。

3 使うお金はどうやって集めるの？





クイズ それではふたたび問題です!



Q2. 藤沢市全体の「借金」は
市民1人あたりいくらでしょうか?

- ① およそ3万1千6百円
- ② およそ31万6千円
- ③ およそ316万円

クイズのこたえは、このページの下にあります。



コラム

借金してもだいじょうぶ?

藤沢市はどのような理由で借金をするのでしょうか。
太郎さんの通学する小学校の建て替え工事に例えてみましょう。



もしも...



小学校の建て替えに
20億円以上の支払いが必要です

結果



一度に払ってしまうと、小学校、保育園の運営管理、
通学路の整備、ごみの回収、下水道の維持管理にお金がたりない

そこで...

学校の校舎などずっと使用していくものは、今使う人も将来使う人も平等に
みんなで支払いをしていくことにしているのです。



藤沢市が集めたお金のほかに借金をします



長い間に分けて借金を返していきます



Q2のこたえ: ② 「藤沢市の借金」について、詳しくは17~20ページの裏面にあります。



それでは最後の問題です!

Q3. 藤沢市の「貯金」(「基金」)は
市民1人あたりいくらでしょうか?

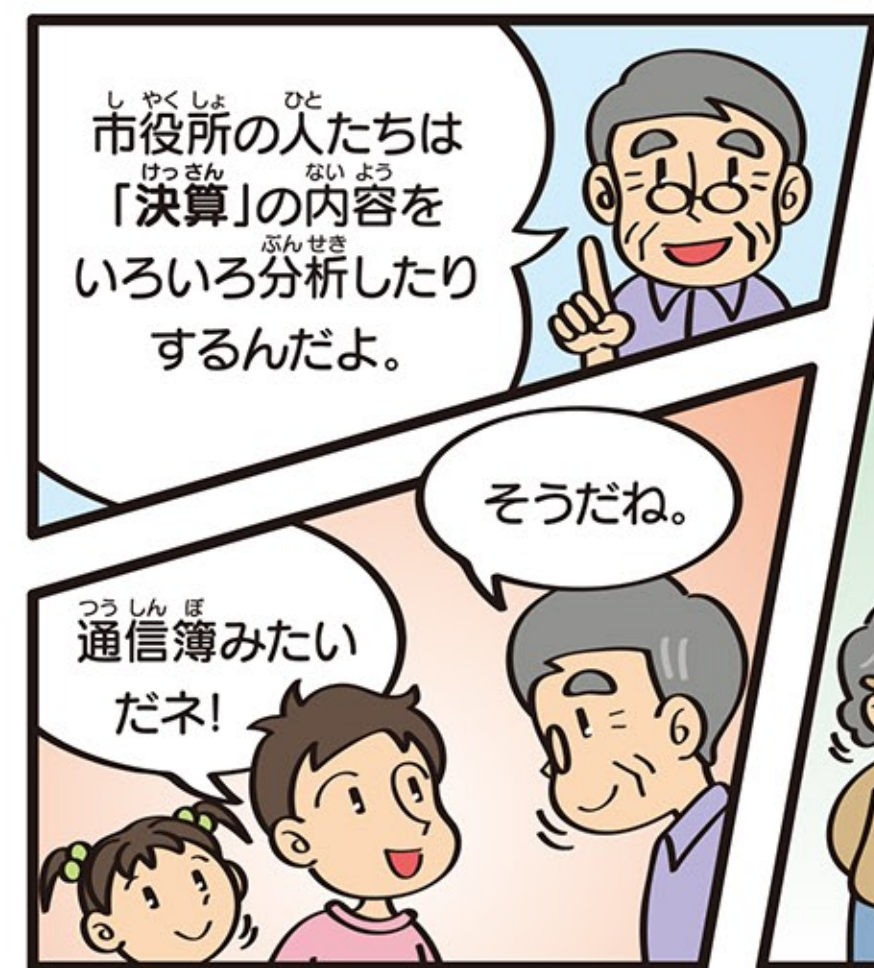
- ① およそ5千3百円
- ② およそ5万3千6百円
- ③ およそ53万6千円

クイズのこたえは、このページの下のにあります。



全問正解

4 使ったお金はどうやって確認するの?



入門編はここまで。次のページからは「財政」の詳しいことが書いてあります。

© 2018 藤沢市 財政課

2

もっと知りたいあなたに 平成28年度予算を見てみよう

1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。お財布で言えば3種類のお財布があって、お金の出し入れをします。



1,383億
9,000万円

一番大きいお財布が「一般会計」です。

一般会計

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を管理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金を出し入れするお財布です。平成28年度の当初予算の額は、1,383億9,000万円(※骨格予算)になっています。

骨格予算とは…

骨格予算とは、義務的経費や、継続的に実施している事業の経費などを計上した予算のことです。

平成28年度当初予算は、市長選挙の年だったため、骨格予算として編成し、補正予算で施策の肉付けを行うこととしています。

なお、骨格予算ではありますが、少子超高齢化の進展に伴う社会保障関係経費の増加などにより、前年度予算額を上回る規模となっています。

838億
7,122万円

次のお財布は「特別会計」です。

特別会計

お金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。

藤沢市には、「国民健康保険事業費」や「区画整理事業費」など7つの特別会計があります。

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費 …… 22億5,881万円
- 柄沢特定土地区画整理事業費 …… 7億5,620万円
- 墓園事業費 …… 6億9,044万円
- 湘南台駐車場事業費 …… 9,575万円
- 国民健康保険事業費 …… 484億1,847万円
- 介護保険事業費 …… 264億9,572万円
- 後期高齢者医療事業費 …… 51億5,583万円

440億
7,532万円

最後のお財布が「公営企業会計」です。

公営企業会計

普通会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。

藤沢市には下水道と病院の2つの公営企業会計があります。

- 下水道事業費 …… 225億2,894万円
- 市民病院事業 …… 215億4,638万円



全会計 **2,663億3,654万円**

2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況なの?



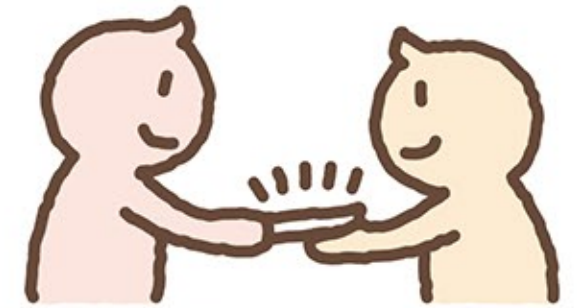
では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成28年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

自主財源
932億5,057万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。



市民のみなさん

藤沢市

依存財源
451億3,943万円

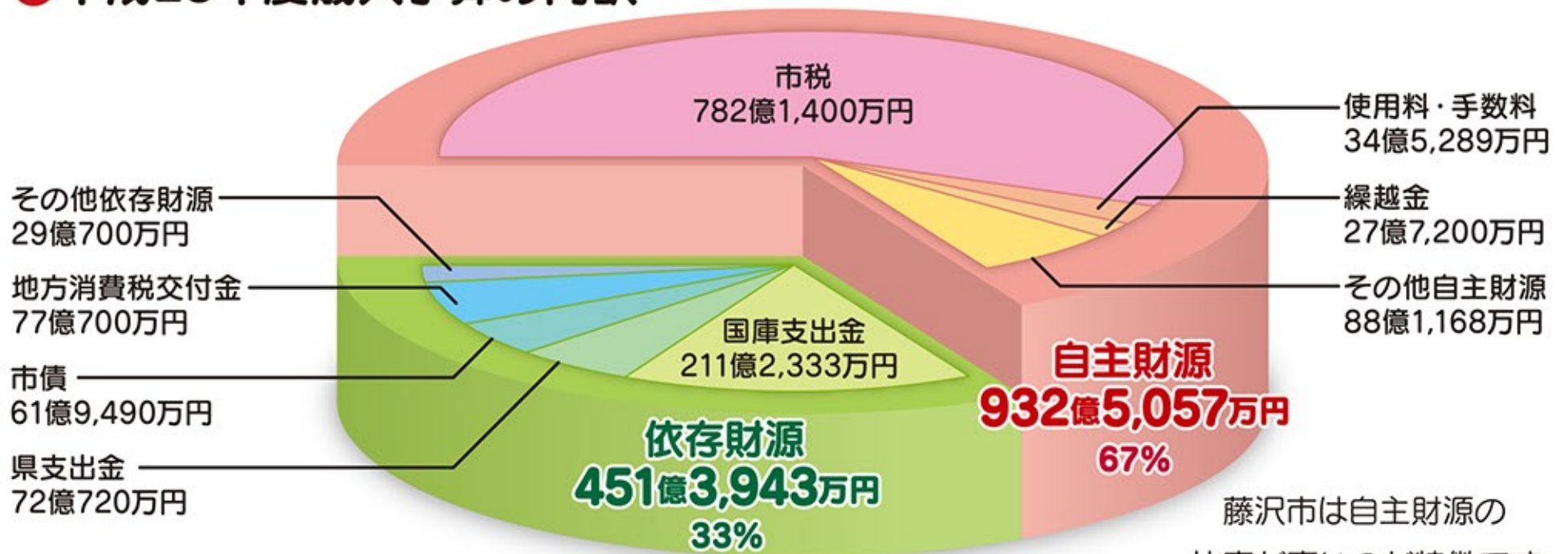
道路や施設をつくる時に国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。



国や県

藤沢市

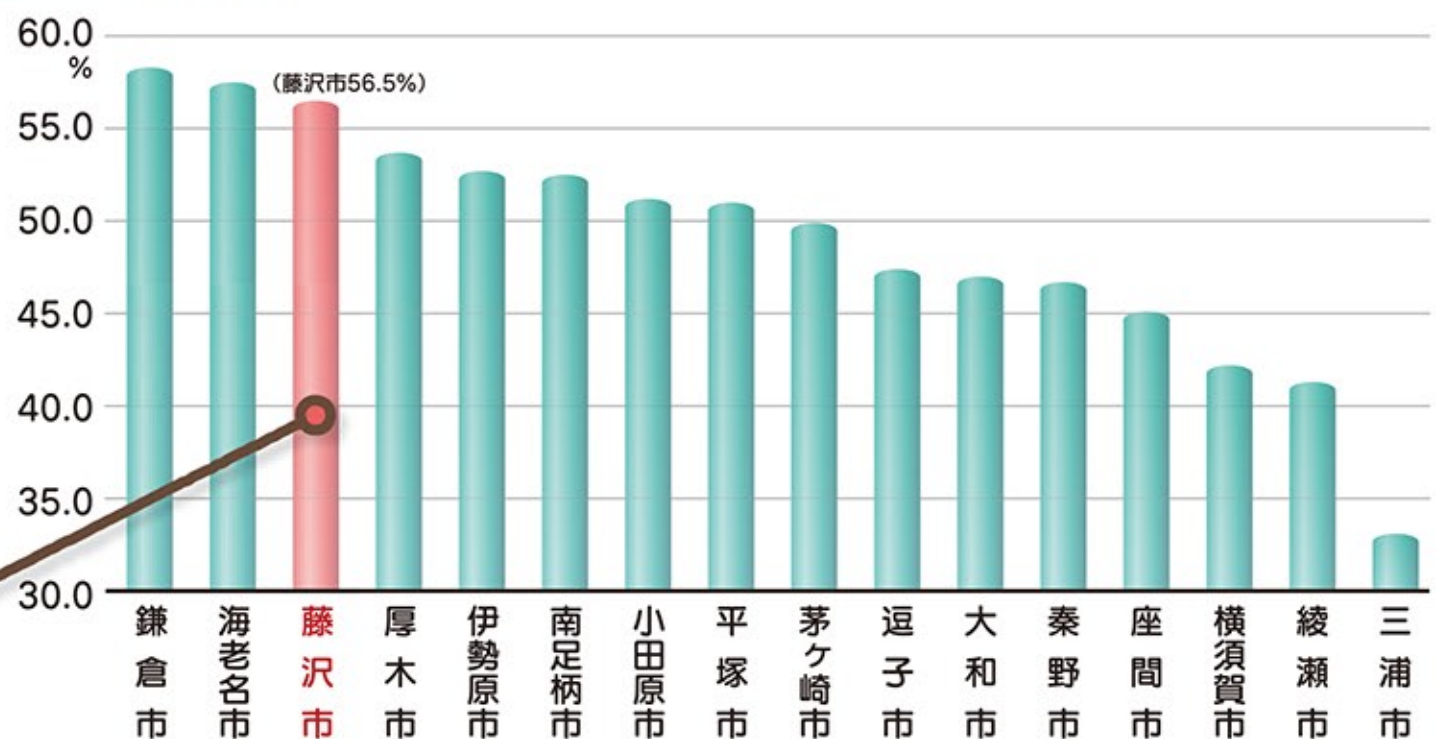
●平成28年度歳入予算の内訳



藤沢市は自主財源の比率が高いのが特徴です。

●歳入予算に占める市税の割合

藤沢市は
県内16市中
第3位です



(横浜市、川崎市、相模原市を除く16市)

● 予算規模の推移

■ 一般会計 ■ 特別会計・公営企業会計

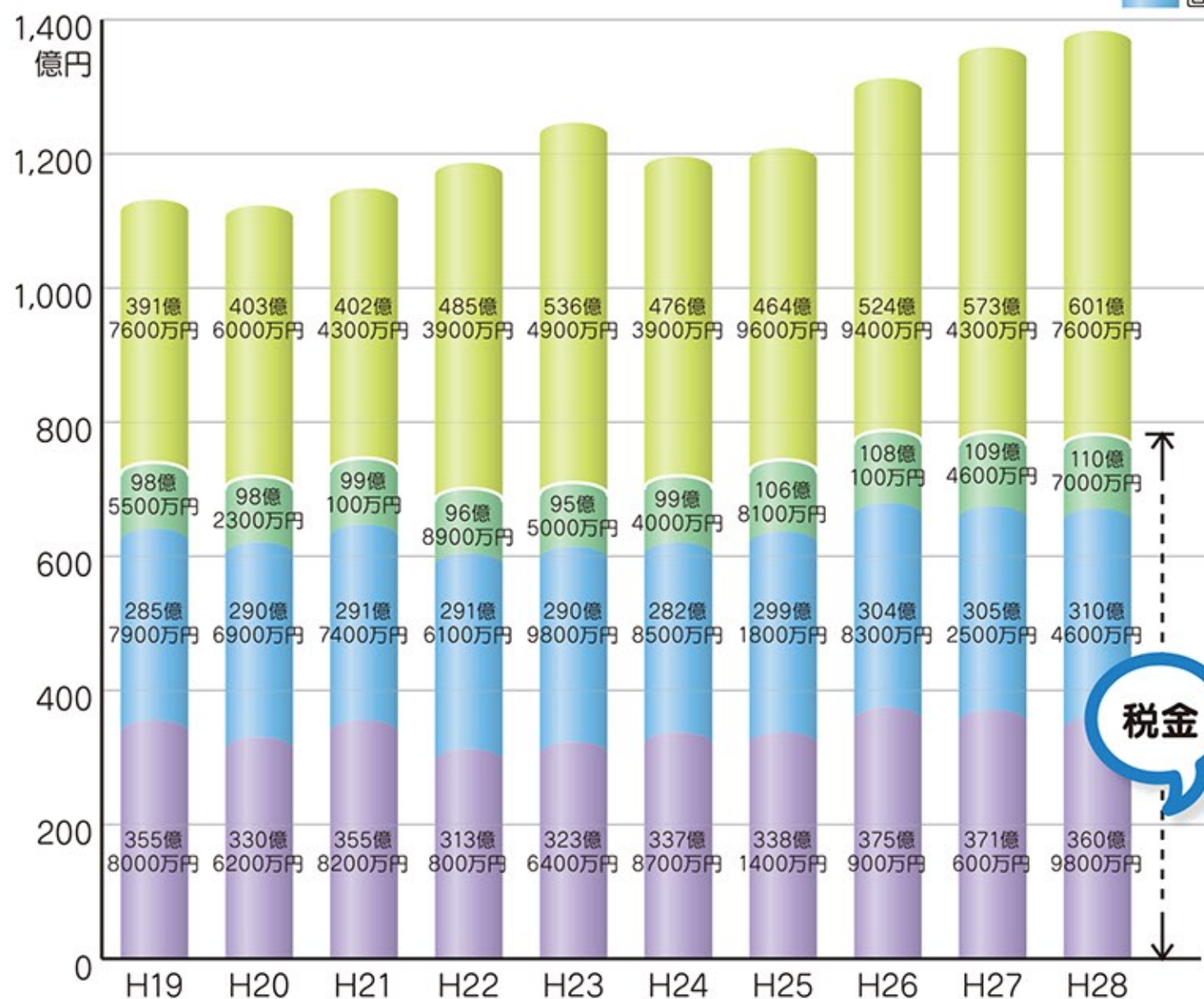


平成28年度の一般会計の当初予算は、生活保護費や児童保育委託費の増による扶助費の増などにより、前年度の当初予算に比べ増加しています。

特別会計・公営企業会計の当初予算は、介護保険事業における介護給付費や北部第二(三地区)土地区画整理事業費における工事費などが伸びているものの市民病院の施設整備費の減などにより前年度の当初予算に比べ減となっています。

● 一般会計歳入予算の内訳の推移

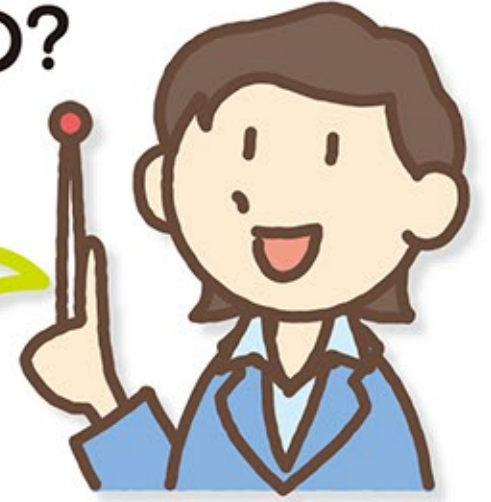
■ 市民税 ■ その他の市税
■ 固定資産税 ■ 市税以外の収入



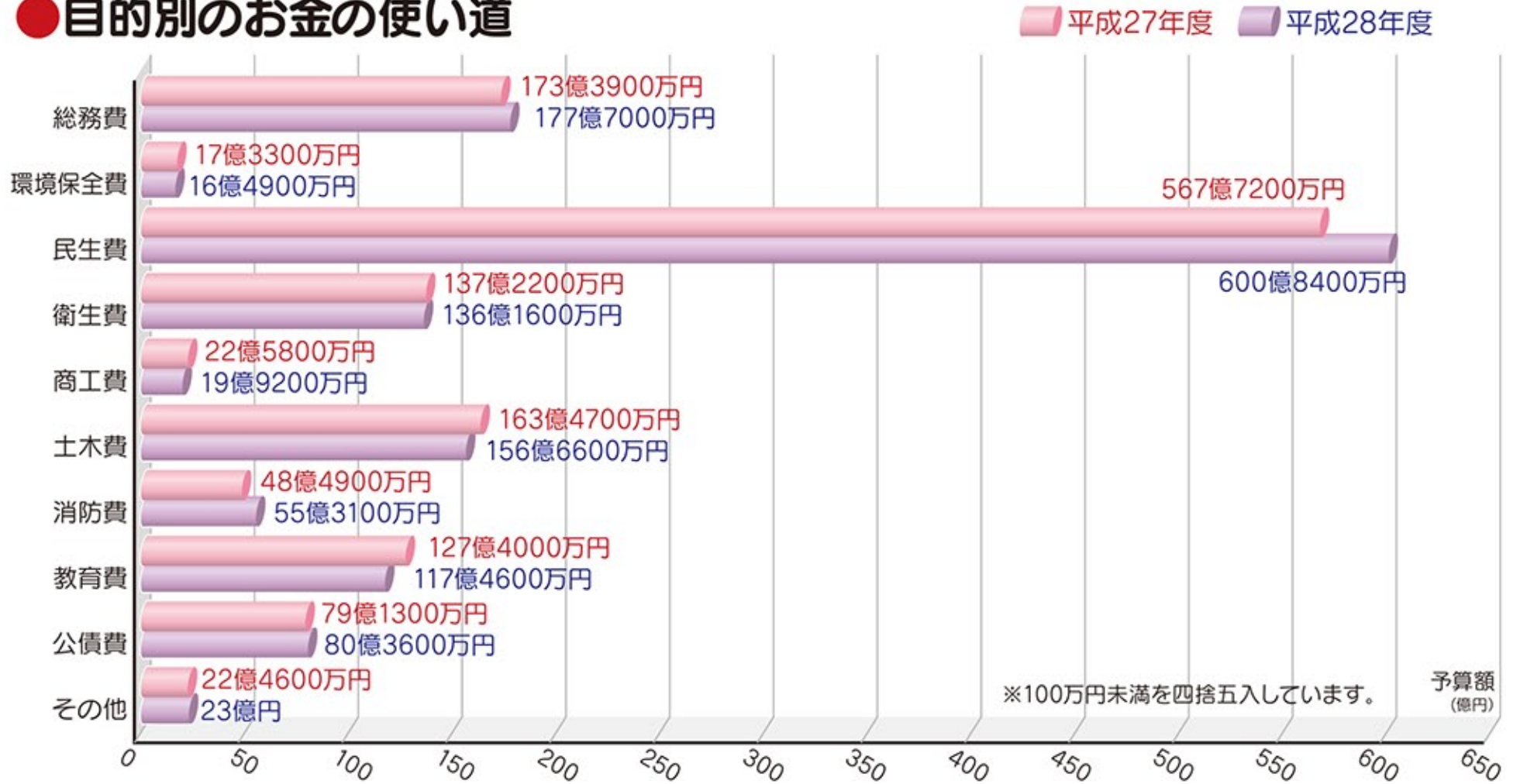
法人市民税の減などがあるものの、地方消費税交付金の増などにより、歳入全体としては前年度と同程度となっています。

3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況なの?

今度は歳出について見てみましょう。
市では、道路や市民センターをつくったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、そのほか子育てや福祉などさまざまな事業にお金を使っています。



● 目的別のお金の使い道



<p>総務費 市民センターや市民会館の運営、広報ふじさわの発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。</p>	<p>環境保全費 交通安全や防犯対策、また公害防止や緑地の保全などに使われます。</p>	<p>民生費 保育園の運営、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。</p>	<p>衛生費 ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。</p>	<p>商工費 商店街や中小企業を応援したり、観光施設の管理などに使われます。</p>
<p>土木費 道路や橋を整備したり、公園をつくったり、市営住宅の管理などに使われます。</p>	<p>消防費 消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。</p>	<p>教育費 小・中学校の校舎や体育館、また公民館、図書館、スポーツ施設等の整備や運営に使われます。</p>	<p>公債費 大きな施設や道路をつくる時に、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。</p>	<p>その他 農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。</p>

消費税率引き上げによる増収分(地方消費税交付金)については、社会保障4経費(年金・医療・介護・子育て)およびその他社会保障施策に使われています。

4 家計簿に例えて見ると

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられません
が、例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えてみると…



藤沢市の予算

こうなります。

収 入		支 出	
市 税	782億1,400万円	人件費	267億4,231万円
使用料、手数料など	150億3,657万円	扶助費	384億5,075万円
【自主財源合計】	932億5,057万円	物件費	248億5,235万円
国・県支出金など	389億4,453万円	投資的経費・維持補修費	132億4,483万円
市債の発行	61億9,490万円	公債費	80億2,897万円
【依存財源合計】	451億3,943万円	繰出金・補助費など	243億7,658万円
収入の合計	1,383億9,000万円	積立金・貸付金	26億9,421万円
		支出の合計	1,383億9,000万円

1カ月の家計簿に例えると…

こんな感じになります。

収 入		支 出	
お父さんの給料	23万2,000円	食 費	7万9,000円
お母さんのパート代	4万5,000円	医療費・保育料	11万4,000円
【給料等の合計】	27万7,000円	光熱水費や被服代	7万4,000円
その他臨時収入	11万5,000円	家の増築・修理、家財購入	3万9,000円
銀行からの借入	1万8,000円	住宅ローン返済	2万4,000円
【臨時収入の合計】	13万3,000円	子どもへの仕送り	7万2,000円
収入の合計	41万円	貯 金	8,000円
		支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) 664億8,621万円 家計簿に例えると 240万2,000円
預貯金の残高(基金残高) 192億3,452万円 家計簿に例えると 69万5,000円

※平成26年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で67.4%を占めています。年間の借金も多くはありませんね。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。



3

藤沢市の台所事情は？


1 今度は平成26年度普通会計決算から藤沢市の台所事情を見てみましょう。

総額1,350億2,800万円

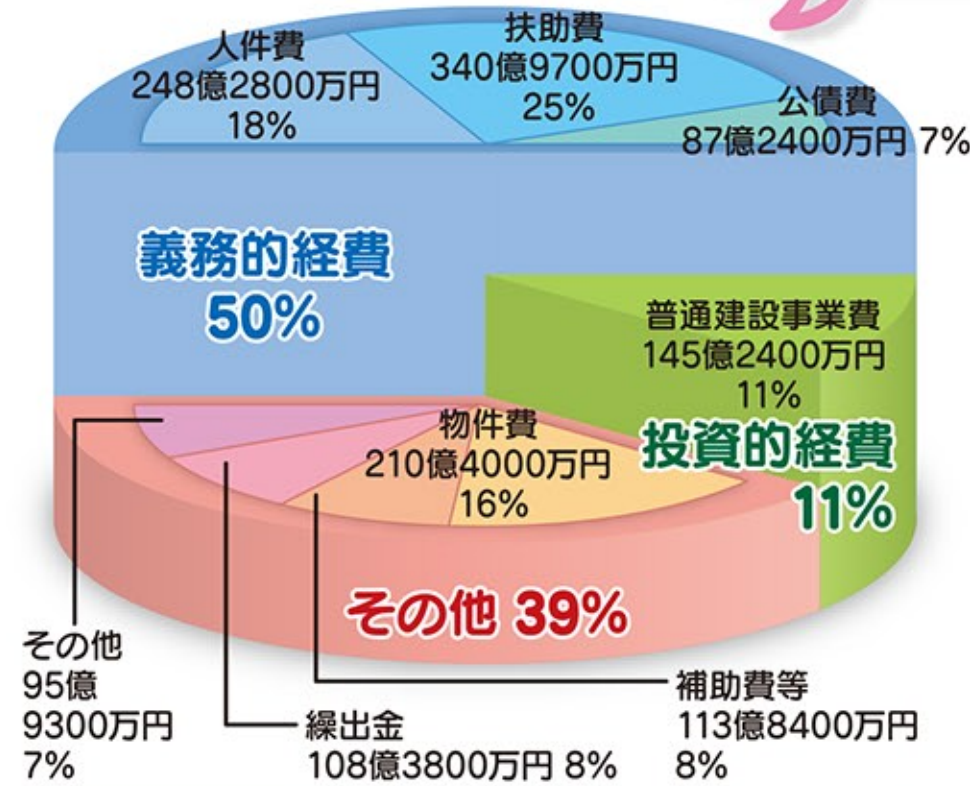
●性質別のお金の使い道



扶助費
生活困窮者、子ども、高齢者、障がい者などを援助するために使われます。




繰出金
国民健康保険事業や土地区画整理事業などに対して医療費や建設費を援助するために使われます。




公債費
国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。

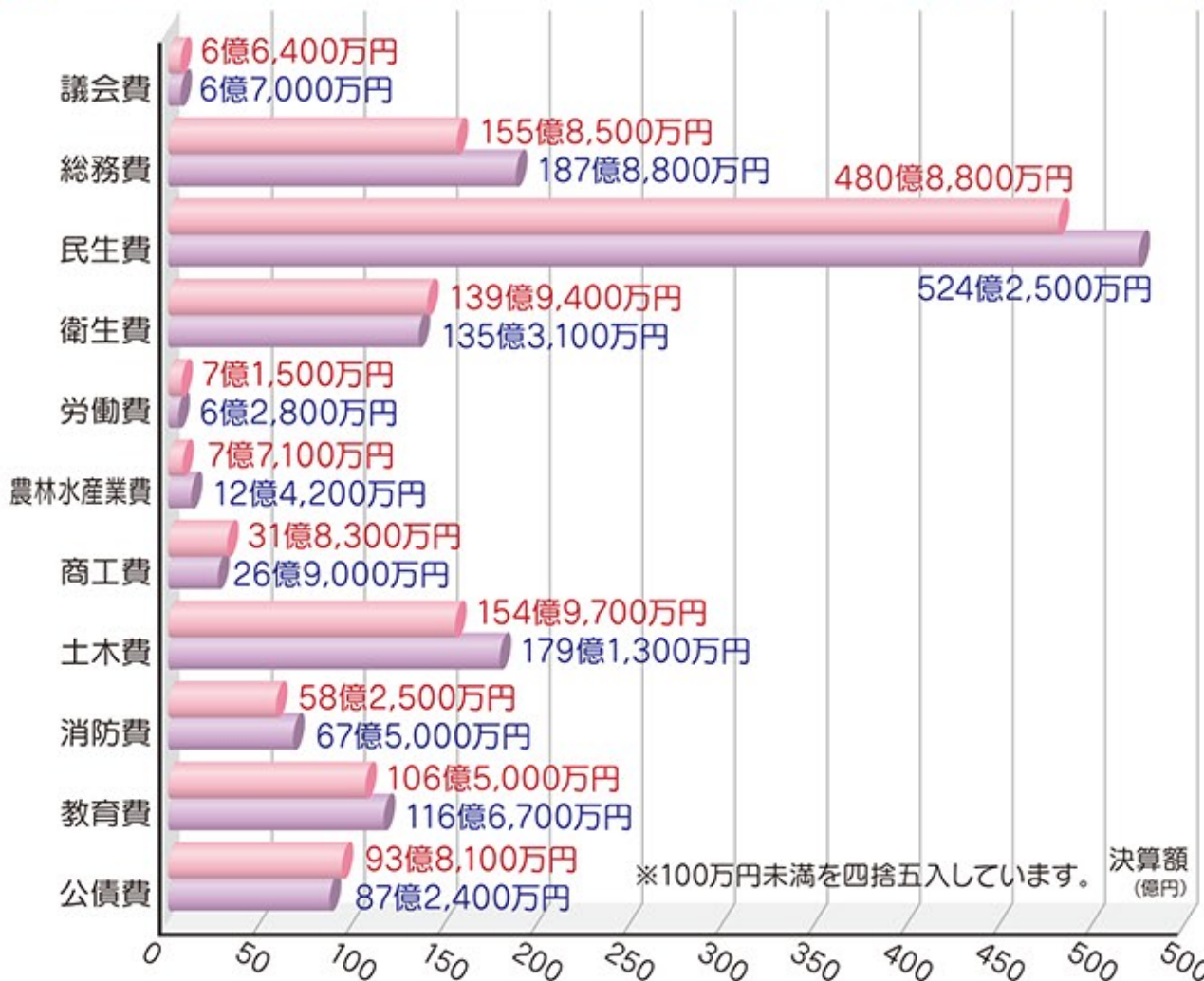


普通建設事業費
道路、橋りょう、公園、学校などの社会資本の整備に使われます。



補助費等
下水道事業や病院事業に対する負担金、幼稚園や保育所への補助金などに使われます。

●目的別のお金の使い道



★普通会計とは？

他市町村との比較に使います。市町村ごとに会計の範囲が異なり、財政状況の比較が困難なため、統計上用いる会計区分です。

藤沢市の普通会計は、一般会計と3つの特別会計(墓園事業費、北部第二(三地区)土地区画整理事業費、柄沢特定土地区画整理事業費)です。



2 義務的経費について見てみましょう。

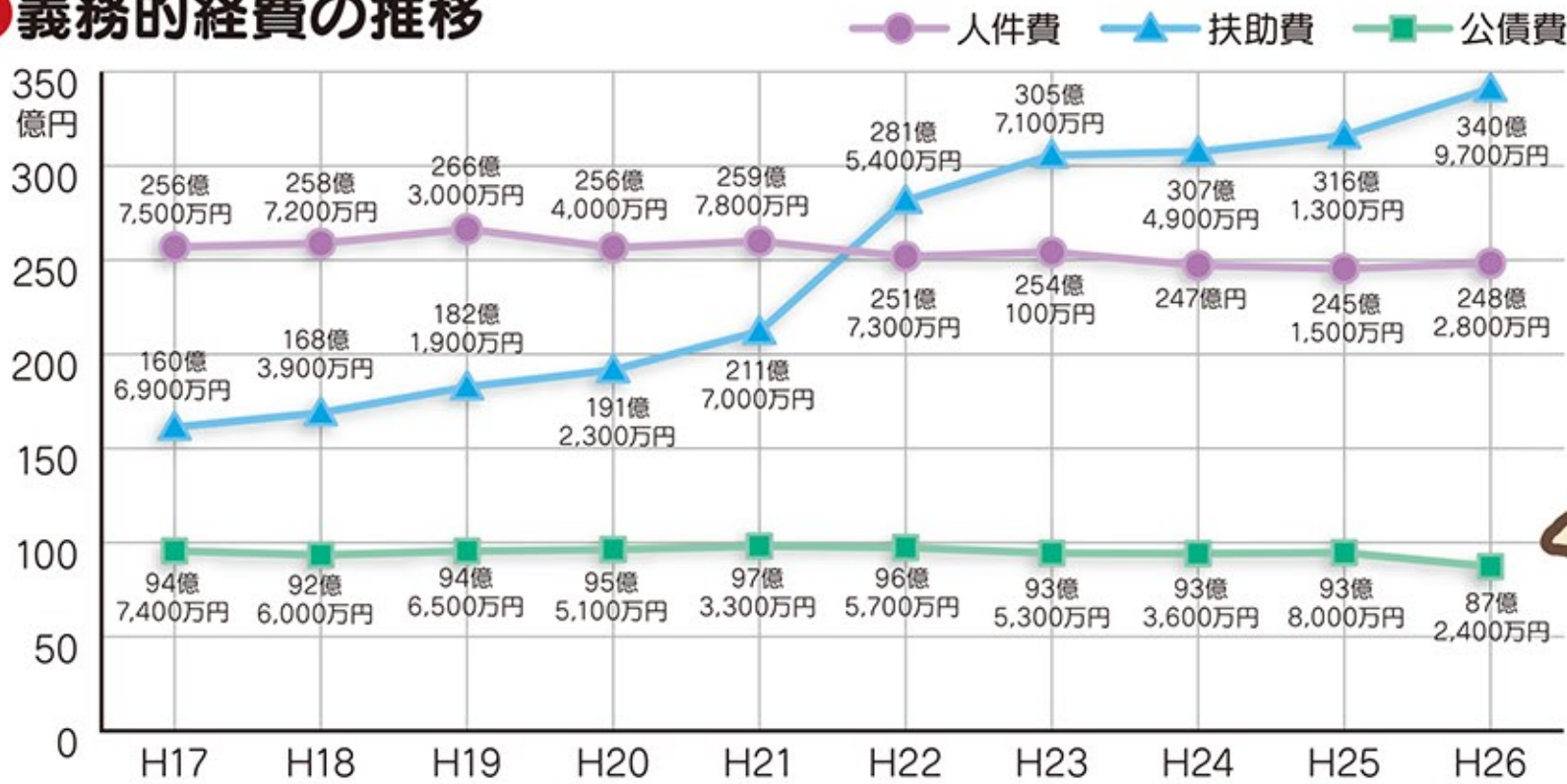
人件費、扶助費、公債費は毎年の支出が義務づけられ、節減することが難しいため「義務的経費」と分類されます。

義務的経費の割合が高くなると自由に使えるお金が少なくなり、新しい市民サービスや公共施設の建設などが難しくなります。

人件費、扶助費、公債費の10年間の推移を見てみましょう。



● 義務的経費の推移



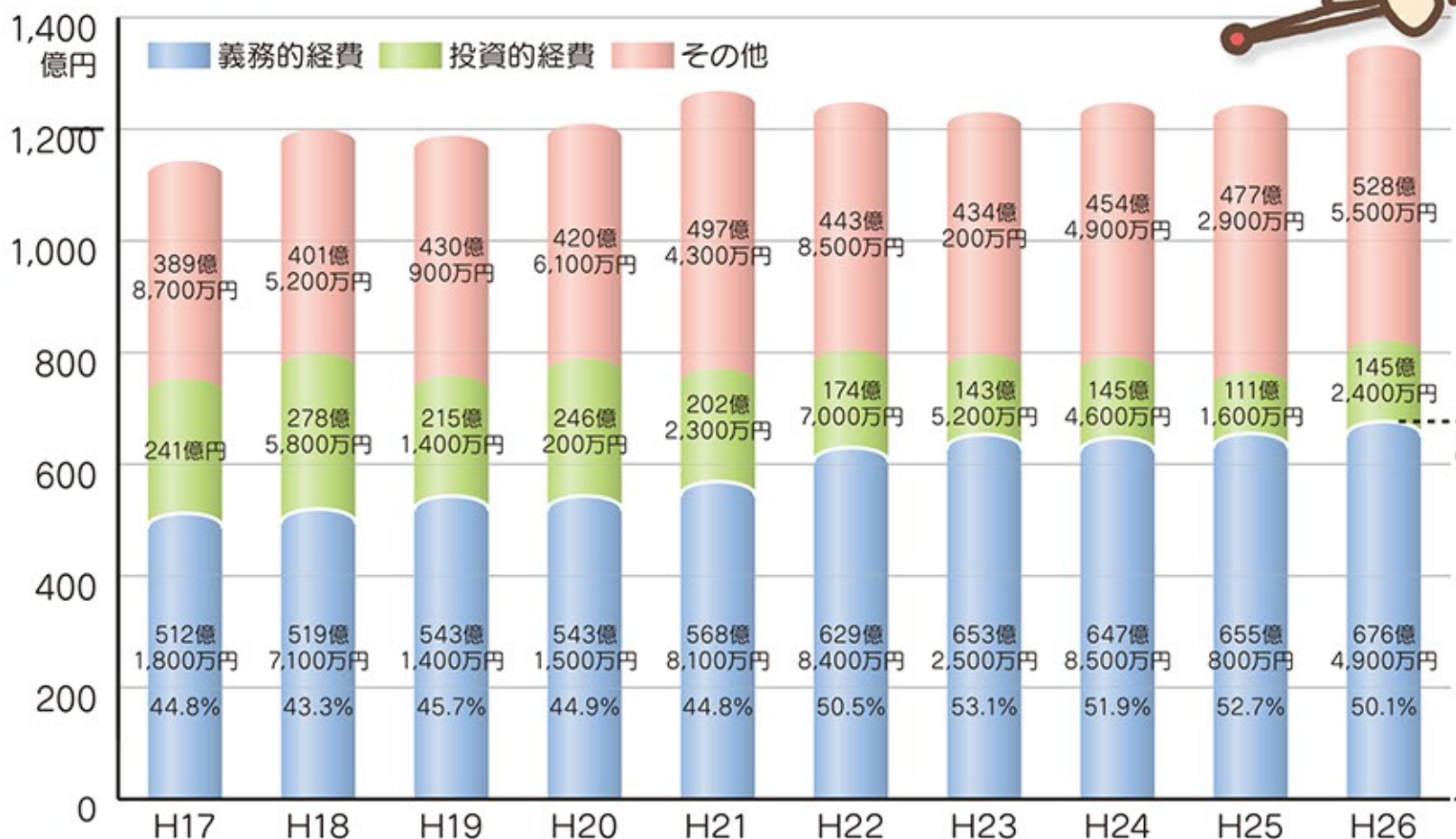
● 人件費は、増減はありますが定員削減などにより減少してきています。

● 扶助費は10年間で約180億円増加しました。平成26年度は、介護給付費、生活保護費の増加や臨時福祉給付金などにより約24億8千万円の増加となっています。

● 公債費は、10年前より約7億5千万円減少しています。

歳出全体に占める義務的経費の割合はどうなっているのでしょうか。

● 歳出全体に占める義務的経費の割合



● 義務的経費は10年間で約164億円(32.1%)増えました。歳出全体に占める割合は、平成22年度に50%を超えて以降、継続して50%を超える水準で推移しています。

3 「経常収支比率」は台所事情をあらわします。

★経常収支比率とは？

自由に使えるお金がどのくらいあるかがわかります。

社会経済や市民ニーズの変化に的確に応えていくための財源がどの程度確保されているかを示します。

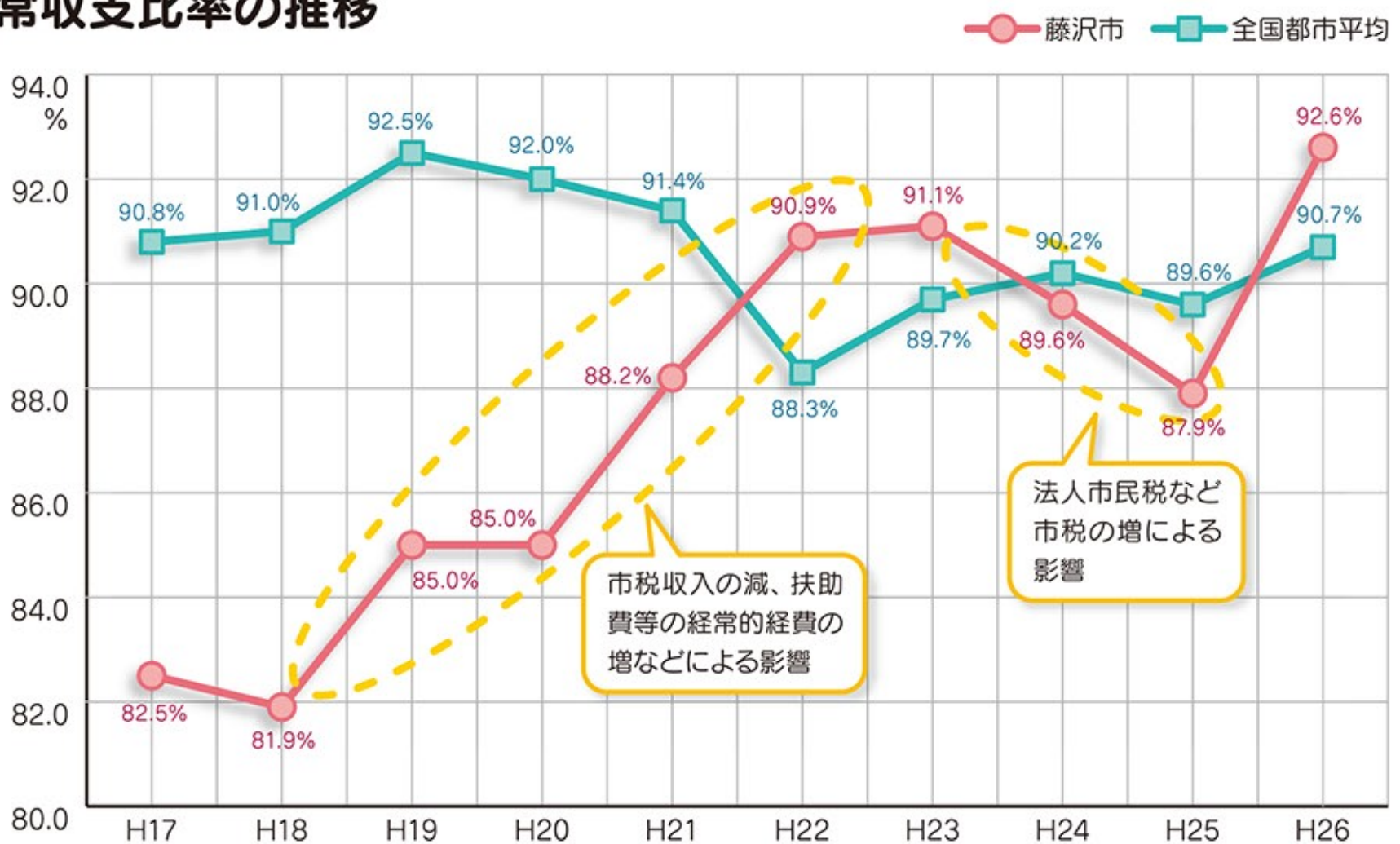
算出方法は、

$$\frac{\text{毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源}}{\text{毎年度経常的に収入される一般財源}}$$
 です。

給料に占める食費やローンの返済額の割合と同様に、比率が低ければ自由に使えるお金が多くなります。



●経常収支比率の推移



経常収支比率は一般的に80%程度が望ましいと考えられていましたが、大多数の市が80%を超えており、平成26年度決算の全国都市平均は90.7%となっています。

藤沢市は、法人市民税の大幅減や臨時財政対策債の発行可能額が0だったこと、扶助費の増などにより、平成26年度は92.6%となりました。

★一般財源とは？

使い道が特定されない何にでも使える収入のことです。主なものに市税、国からの譲与税、赤字債である臨時財政対策債などがあります。

★臨時財政対策債とは？

国から地方自治体に分配する地方交付税の不足を補うため、不足分の一部を地方自治体が借入れる地方債のことを言い、後年度に元利償還金を地方交付税として国から地方自治体に戻すしくみになっています。

※経常収支比率の算定では、分母の一部になるため、臨時財政対策債の減少は、経常収支比率の上昇要素になります。



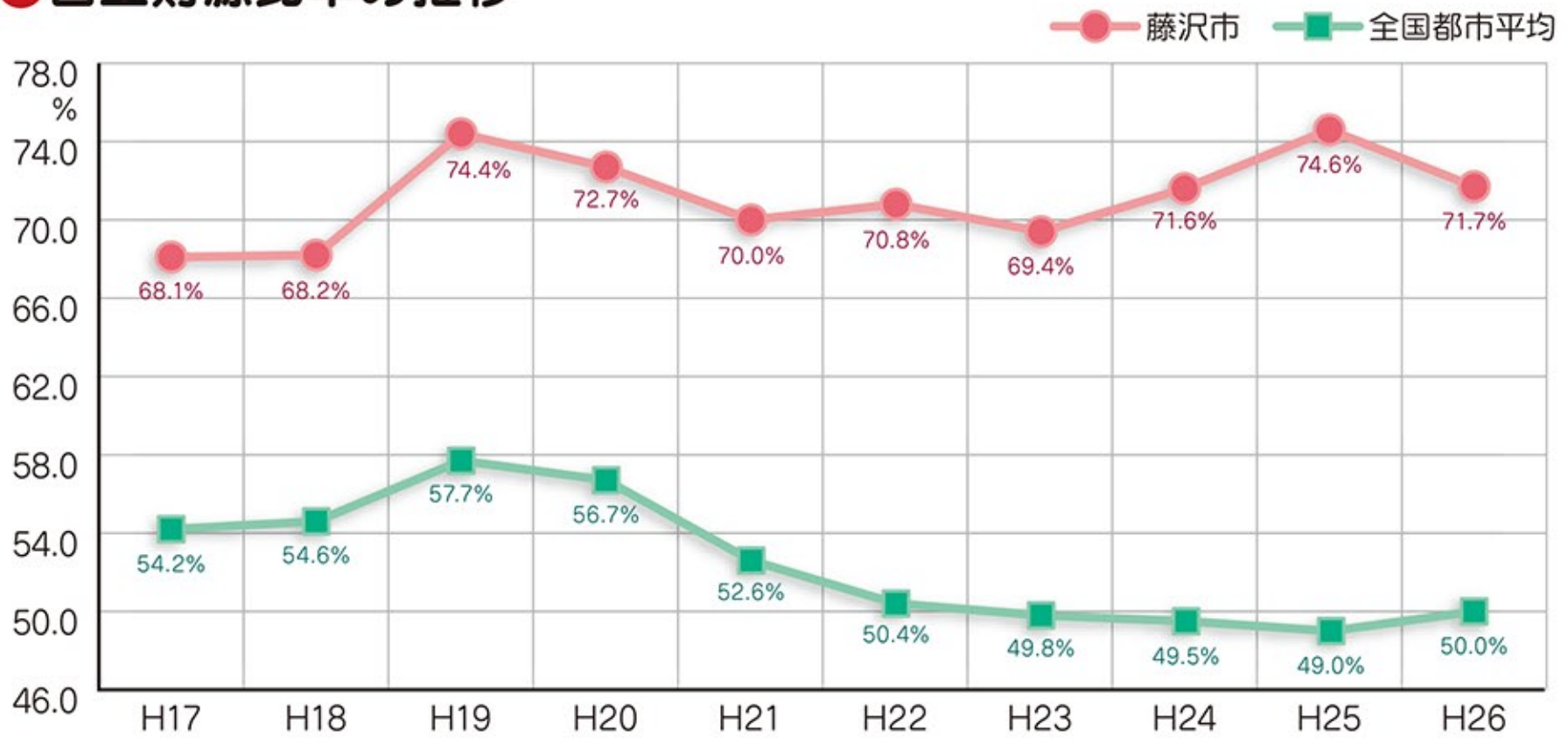
4 「自主財源比率」は財政の安定度をあらわします。

★自主財源比率とは？

財政の安定度や健全度を示す指標です。

市税や使用料・手数料などの自主財源が歳入全体に対してどの位の割合になるかをあらわし、比率が高いほど財政基盤の安定性があります。

●自主財源比率の推移



全国都市平均は平成19年度以降低下傾向にあり、平成22年度以降は、49～50%で推移しています。藤沢市は71.7%と市民や企業の担税力に支えられ、全国都市平均を上回る高い率となっています。

ここでひと休み

扶助費は何が増えているのでしょうか？



障がい者、子ども、生活困窮者に対する扶助費が増えています。5年前と比較し全体で約59億円の増加(障がい者福祉費が21億円、35.1%増、児童福祉費が14億円、9.9%増、生活保護費が19億円、24.7%増など)となっています。

老人福祉費の割合が少ないのは、これとは別に、介護保険事業費や後期高齢者医療事業費の特別会計で約285億円を支出しているからなんだ!



5 財政指標ランキングコーナー!!

藤沢市の財政指標のランキングがわかるコーナーです。

財政状況を見る財政指標にはいろいろありますが、ここでは主な財政指標を取り上げました。

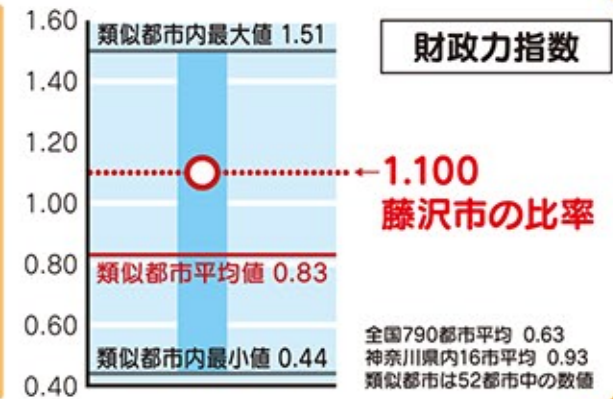
財政力指数



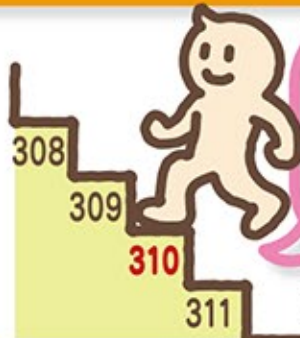
★財政力指数
1.100は全国で
第14位!

県内16市中第1位

財政力指数は、標準的な行政活動を行うために必要な財源を、どの程度自力で調達できるかを見る指数です。指数が大きいほど財政力が強く、1未満になると国から普通交付税が交付されます。



実質収支比率

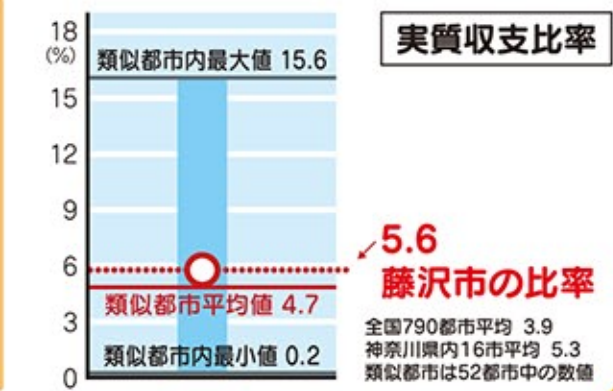


★実質収支比率
5.6は全国で
第310位!

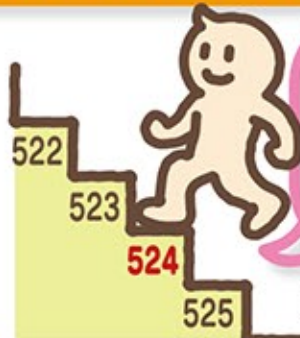
県内16市中第7位

歳入歳出の形式的収支から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額(黒字または赤字額)が、標準財政規模に対してどの位の割合になるかを表すものです。

よりわかりやすく言うと黒字率や赤字率を見る指標です。



経常収支比率

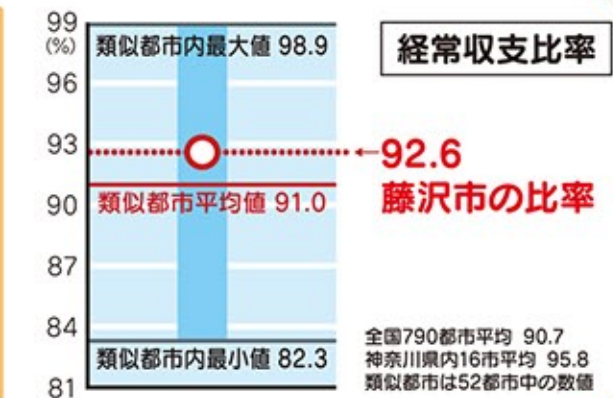


★経常収支比率
92.6は全国で
第524位!

県内16市中第3位

扶助費や人件費など経常にかかる経費に対して、市税や各種交付金など経常に入ってくる一般財源をどの位の割合で使っているかを表すもので、財政の弾力性や硬直度を見る指標です。

この比率が高いほど財源の余裕が少なくなり、政策的に使えるお金が少なくなります。



自主財源比率

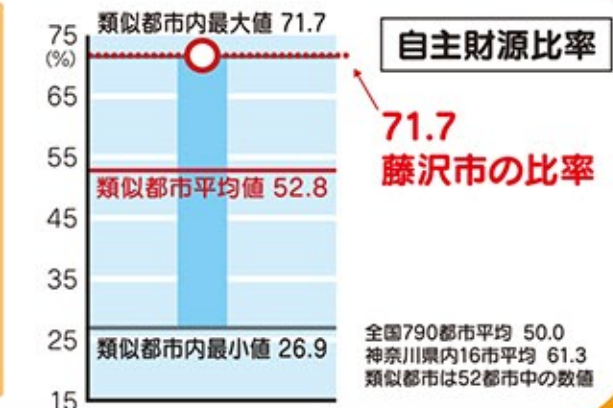


★自主財源比率
71.7は全国で
第15位!

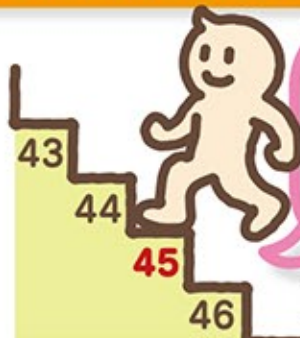
県内16市中第1位

市税や使用料・手数料などの自主財源が歳入全体に対してどの位の割合になるかを表し、財政の安定度や健全度を示す指標です。

この比率が高いほど財政基盤の安定性があります。



公債費負担比率

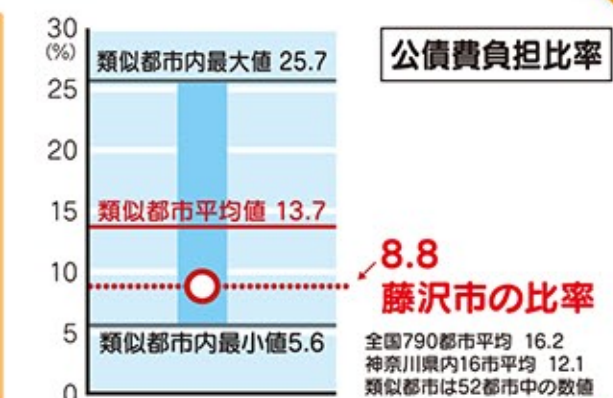


★公債費負担比率
8.8は全国で
第45位!

県内16市中第2位

公債費に充当された一般財源が一般財源総額に対して、どの位の割合になるかを表すものです。

公債費がどの程度一般財源の用途の自由度を制約しているかをみることにより、財政構造の弾力性を判断することができます。



※注1：いずれの財政指標も平成26年度決算に基づく財政指標です。

※注2：県内16市は、政令市(横浜市、川崎市、相模原市)を除いた市です。

※注3：類似都市は、人口15万人以上、産業構造の2次及び3次産業が95%未満、3次産業が55%以上の52都市です。

4

藤沢市の借金は どうなっているの？

1 借金はどれくらい？

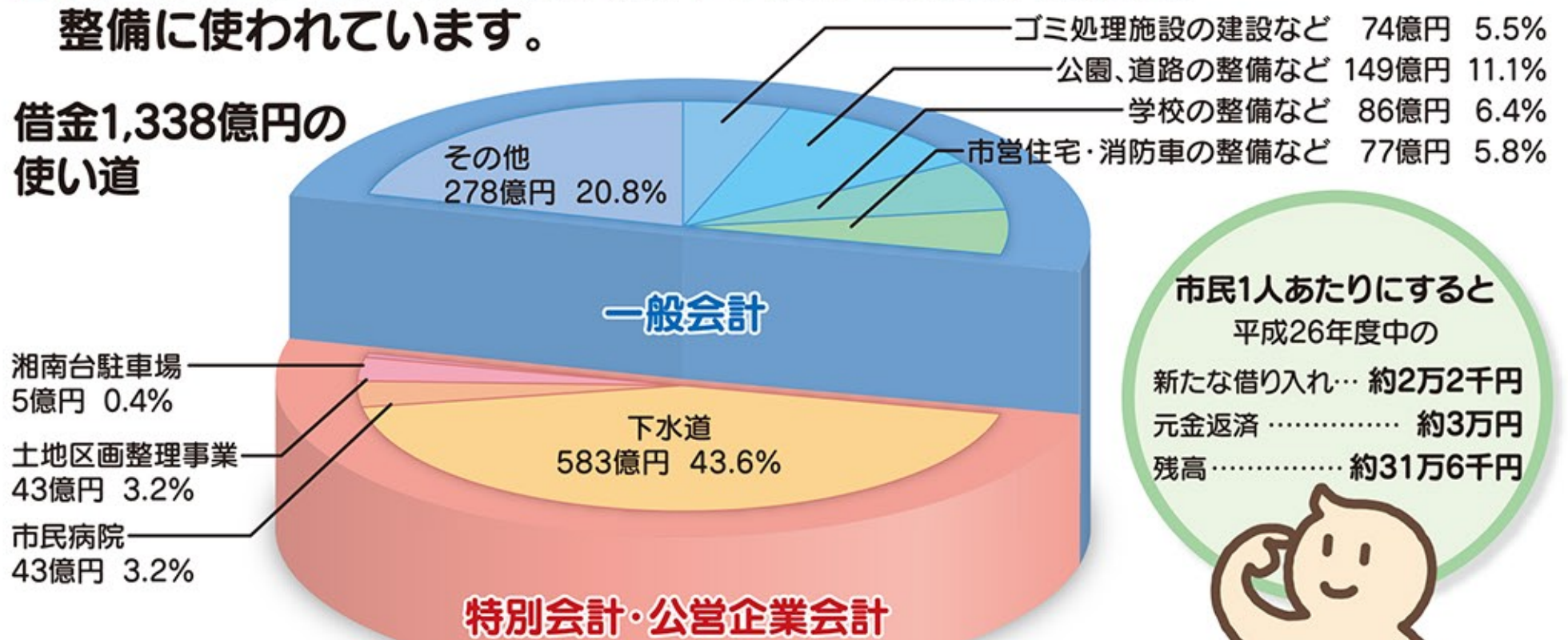
平成26年度決算から見てみましょう。

藤沢市の借金は、平成26年度に約95億円を借り入れて、約127億円返済しました。
借金残高は、市全体で約1,338億円です。



- 借金は、主に公園、道路、学校、下水道などの公共施設の整備に使われています。

借金1,338億円の
使い道



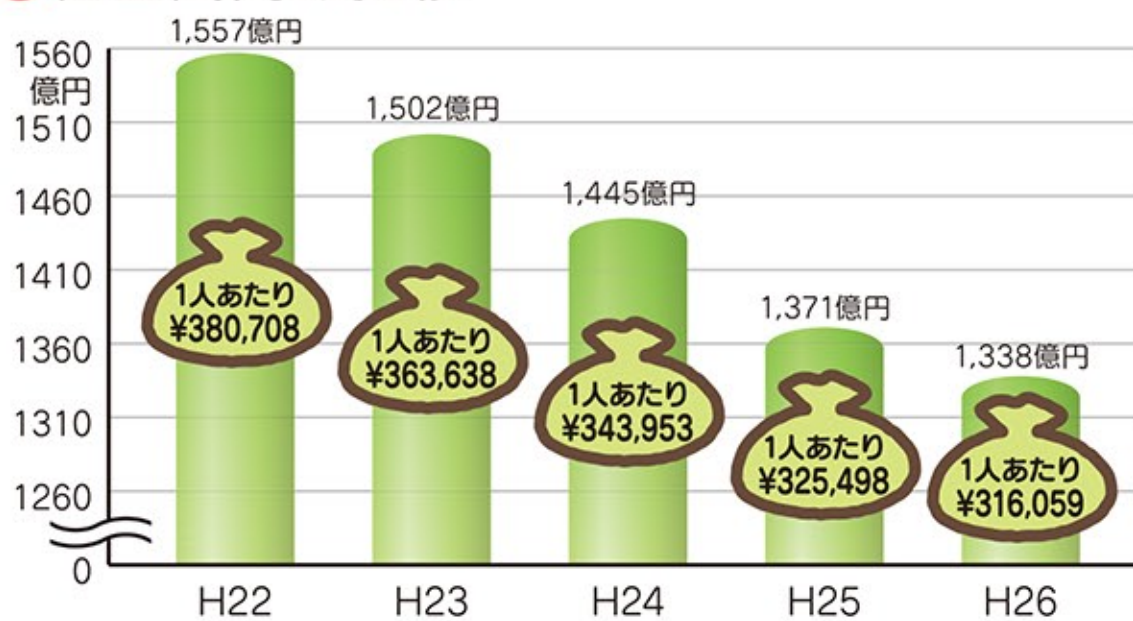
市民1人あたりにすると
平成26年度中の
新たな借り入れ… 約2万2千円
元金返済 …… 約3万円
残高 …… 約31万6千円



市民
1人あたりの
金額です…



●借金残高の推移



大規模な建設事業などが減少していることや、過去に借り入れた借金の返済が進んでいるため、残高は年々減少しています。

★借金は他の市と比べて多いの？ 少ないの？

平成26年度決算では市民一人あたりの借金が県内16市の中で最も少なくなっています。
(横浜市、川崎市、相模原市を除く県内16市)



※他市と比較するため普通会計 (12ページに説明があります) という区分での数値になります。
上記の図における1人あたり借金残高は特別会計を含んだ数値となっているため差が生じています。

県内で1番
少ないんだ！

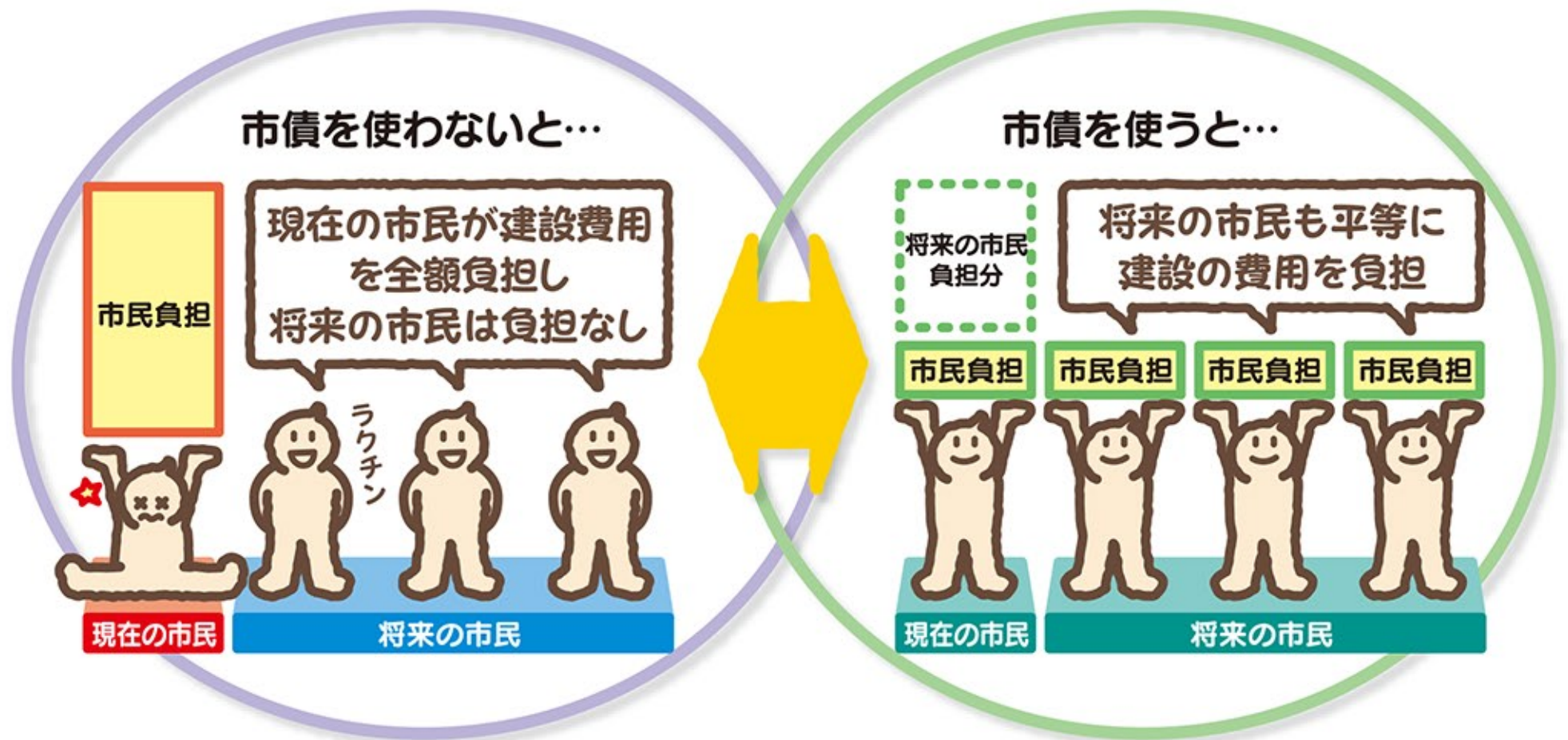


2 どうして借金をするの？

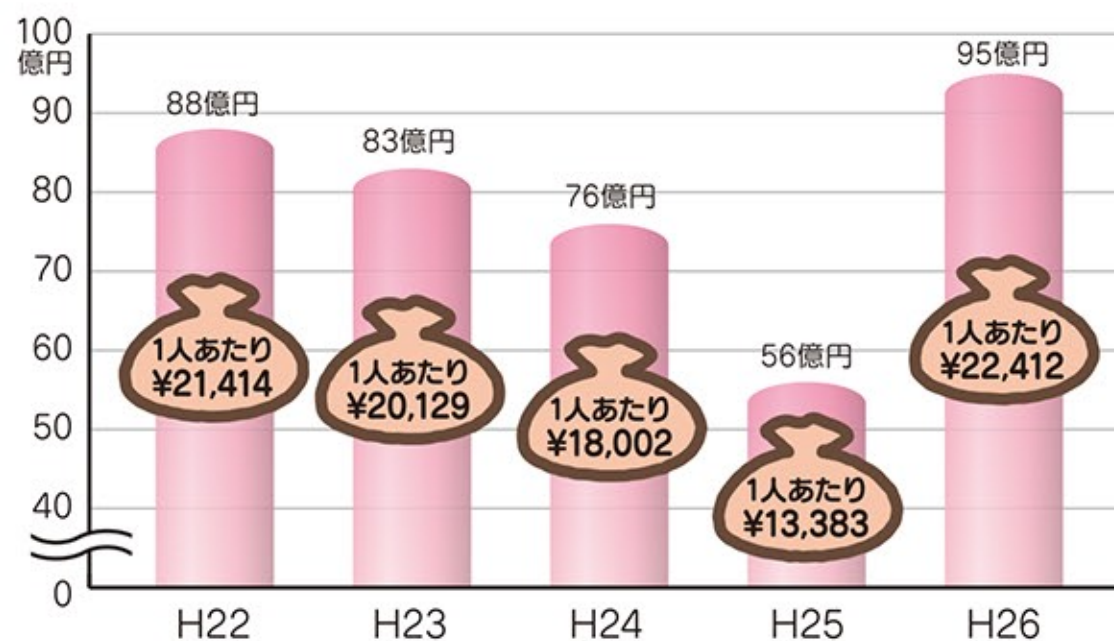
- 「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」と「毎年の財源を平均する役割」があります。

公共施設の整備には一時期に多額のお金が必要になります。これをその年の収入だけで賄ってしまうと他の仕事ができなくなってしまいます。

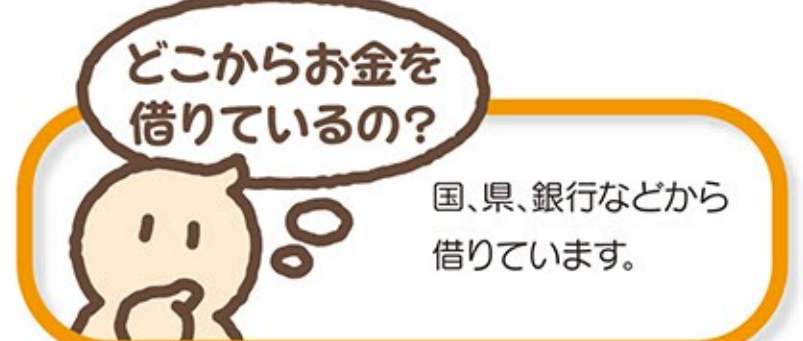
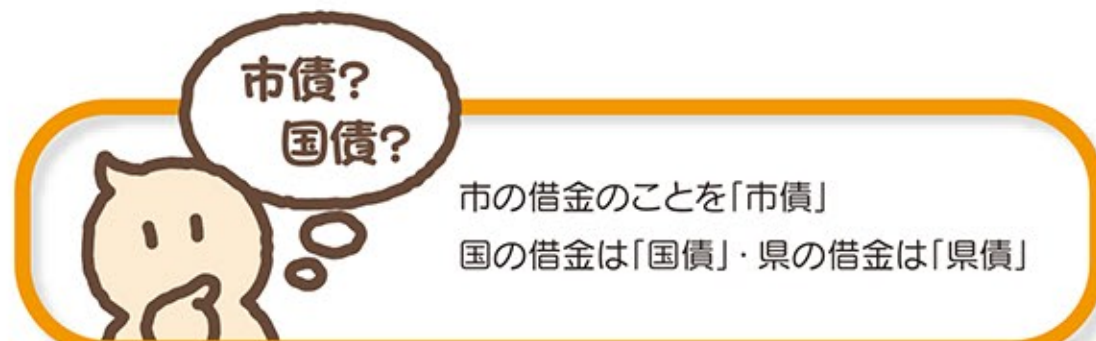
また、公共施設は現在の市民だけではなく、将来の市民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、市債を活用して平等に費用の負担をお願いしています。



●各年度における借入額の推移



大規模な建設事業の減少により借入額は減少していましたが、平成26年度は消防救急基地局無線のデジタル化、柄沢雨水調整池および学校給食調理室の整備や下水道事業などにより借入額が増加しました。



3 借金の返済額は妥当なの？

●健全化判断比率(実質公債費比率)から見てみましょう

借金の返済額が身の丈にあったものかどうかを判断する基準に「実質公債費比率」というものがあります。

収入に対して返済額がどの程度の割合になるのか、借金返済の負担が多すぎないかをチェックするものです。

借金漬けになる可能性が高いとされる目安25%に対して、藤沢市は2.2%(平成26年度決算)で良好な状態にあります。

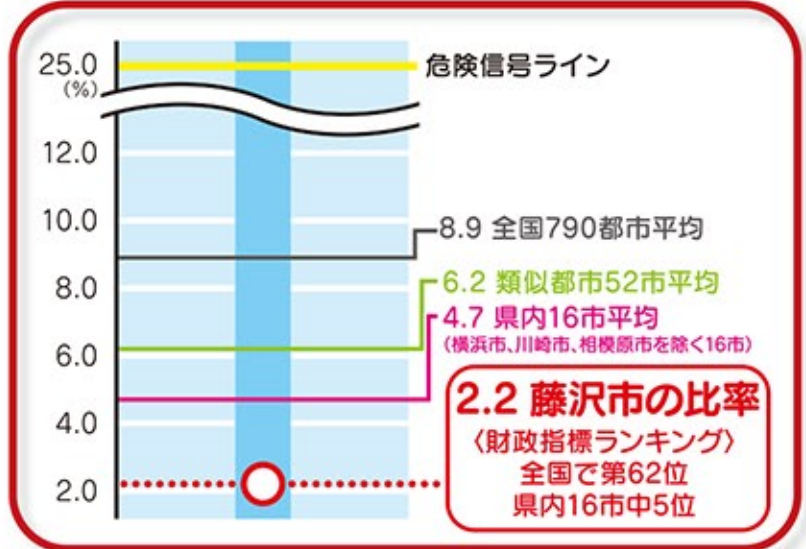


家計に例えると(実質公債費比率)

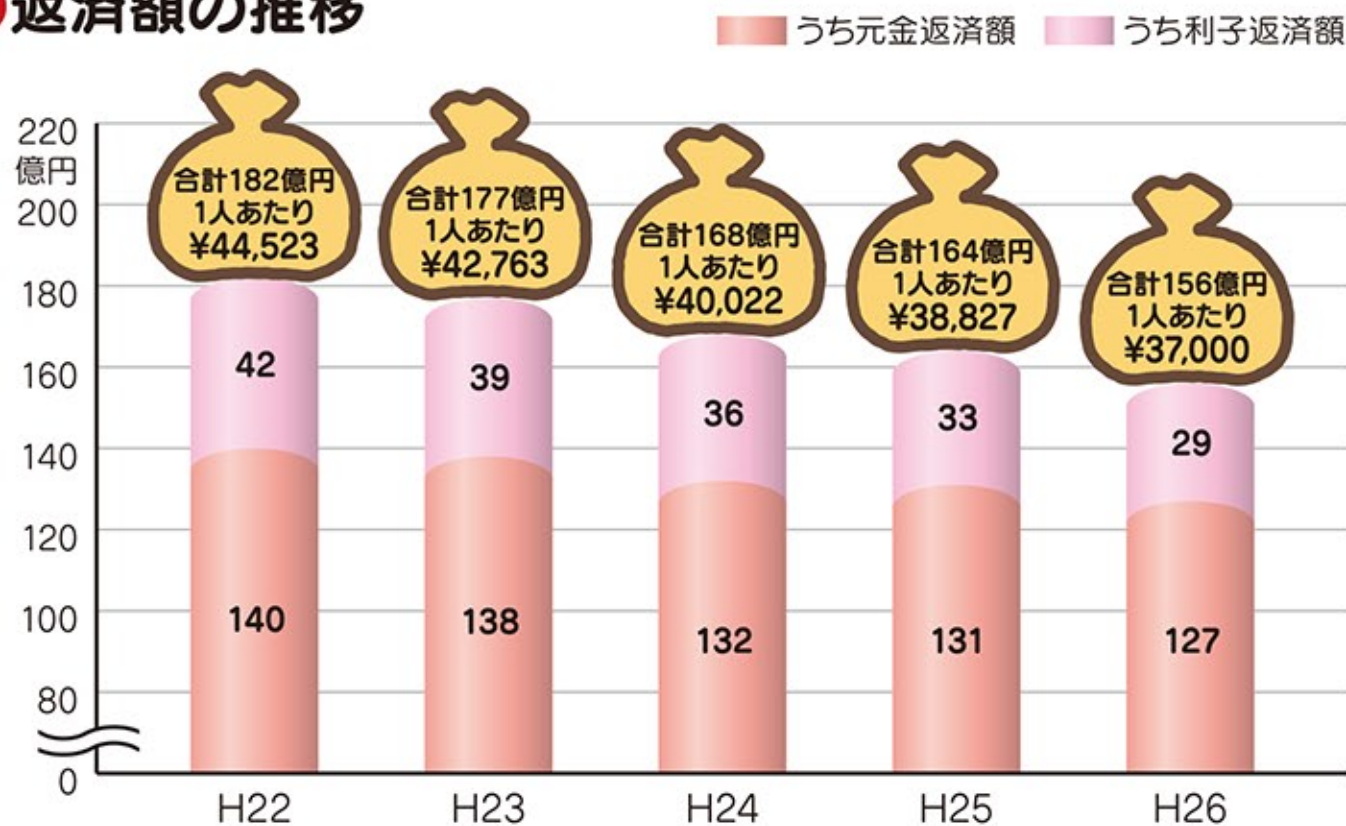
家や車のローン、クレジットカードで買い物をした支払いなど、その年の返済額が年収の25%以上となった場合、借金漬けになる可能性が高いという危険信号を示しています。



●実質公債費比率(他市との比較)



●返済額の推移



元金返済額、利子返済額ともに減少しています。



★財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」って？

財政破綻を未然に防ぐことを目的とした「財政健全化法」という法律で、財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」を議会や市民のみなさんに毎年公表することが義務づけられています。

健全化判断比率は、4つの指標①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率があり、赤字や負債(借金返済)の状況など4つの視点から示すものです。

①・②は年間の赤字の割合(①は一般会計等、②は全ての会計を対象)、③は借金の返済額の割合、④は将来の負担が見込まれる負債の割合をチェックするものです。

4 将来の市民に負担はかからないの？

●健全化判断比率(将来負担比率)から見てみましょう

借金や数年間にわたる契約により約束された支払い、職員の退職金など、将来支払わなければならない負債が、収入に対してどの程度なのかを示す指標として、「将来負担比率」というものがあります。負債にかかる負担が大きくないかをチェックするものです。

将来財政を圧迫する可能性が高いとされる目安350%に対して、藤沢市は11.3% (平成26年度決算)で良好な状態にあります。

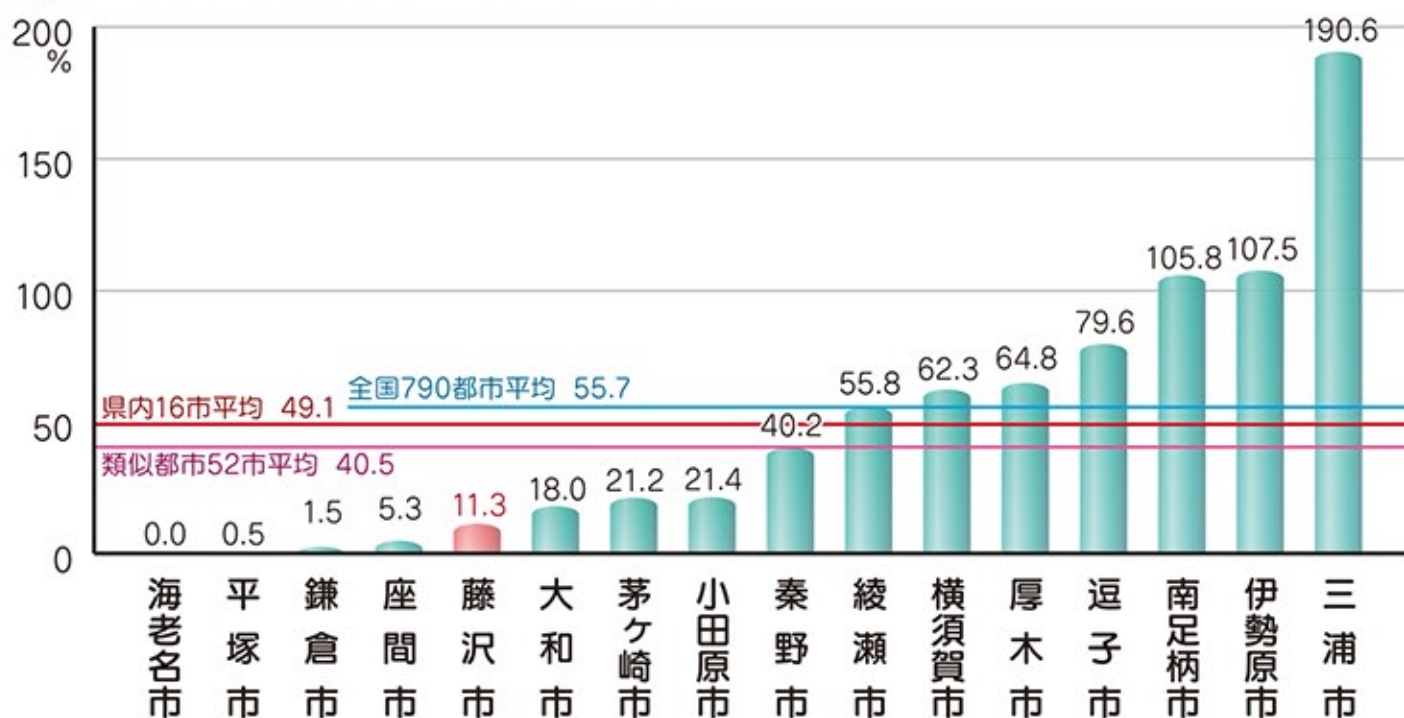


家計に例えると(将来負担比率)

家や車のローンの残高、クレジットカードの支払い残高など、これから返済していかなければならない返済総額が、年収の3.5倍以上になった場合には、今後ローン返済などに追われ家計が成り立たなくなり、経済的苦境におちいる状態にあることを示しています。



●県内16市将来負担比率



藤沢市の比率は、県内16市中、将来負担が少ないほうから数えて5番目です。類似都市平均、全国平均からみても良好な状態にあるといえます。

(横浜市、川崎市、相模原市を除く県内16市)



健全化判断比率からみた平成26年度の藤沢市の財政状況は、いずれの指標も危険信号を示す基準値を下回っており、「健全段階」です。

●健全化判断比率

比率	藤沢市		早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
	H26	H25		
実質赤字比率	(▲6.00)	(▲14.24)	11.25	20
連結実質赤字比率	(▲18.97)	(▲28.62)	16.25	30
実質公債費比率	2.2	2.3	25	35
将来負担比率	11.3	17.7	350	

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率の比率欄「-」は、それぞれ比率の算定の結果、「実質赤字額がない」ことを表しています。参考として()にマイナスの比率を表記しています。

★早期健全化基準・財政再生基準とは？

市の財政状況が悪化し、危うくなったときにイエローカード(早期健全化基準)で警告をします。

更に悪化し自主的に財政の立て直しができなくなったときは、レッドカード(財政再生基準)で、国・県の関与のもと、確実な財政の立て直しに着手することになります。



5

藤沢市の貯金はどれくらい?

1 借金のはわかったけど、貯金はあるの?

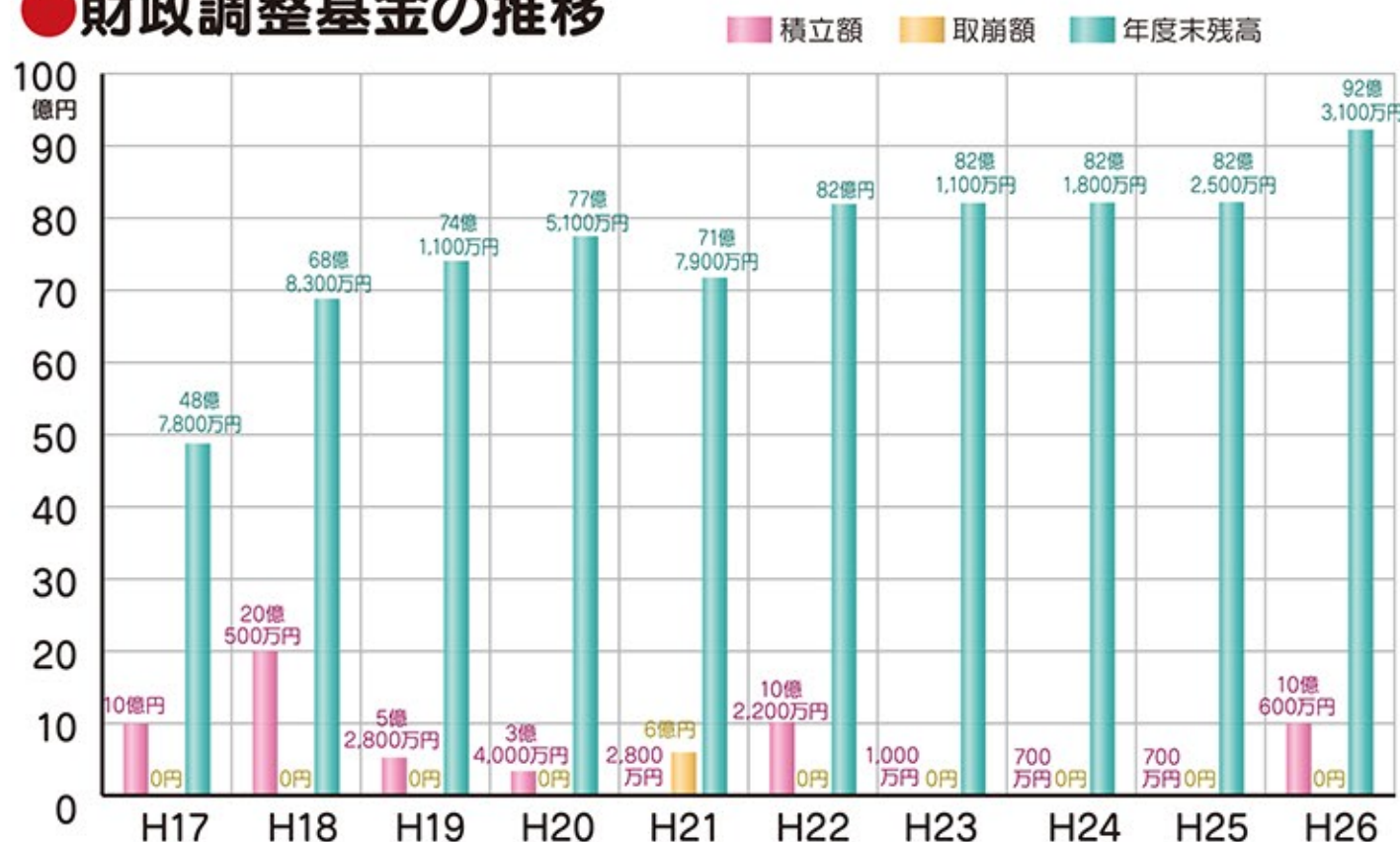
平成26年度決算から見てみましょう。

藤沢市には貯金に相当する「基金」というものがあります。基金は、それぞれの基金条例に基づき、寄附金や基金利子などを積み立てて、基金の目的に応じて必要な時におろして使うものです。藤沢市は財政調整基金をはじめ、公共施設整備基金、環境基金、愛の輪福祉基金など、全部で12の基金を持っていて、平成26年度末の総額で約226億9千万円、市民1人あたり5万3千6百円の貯金があります。



※基金数は平成26年度末現在のものです。 ※平成27年度に新たに藤沢市災害復興基金を創設しました。

● 財政調整基金の推移



いろいろな基金の中でも、いざという時のためや大きな出費が必要になった時などのために積み立てているのが「財政調整基金」なんだ。「財政調整基金」のここ10年間の推移を見てみよう。



平成21年度には貯金をおろしたということ?



そうです。

平成21年度は、住民参加型市場公募債の償還財源や急激な景気後退等により減少した各種交付金の補てん財源として基金を取り崩しました。



いざという時のためには、貯金があった方が安心だね



そう、そのために今後も経済状況の落ち込みに伴う税収減による財源不足や、災害への備えなどのために、可能な限り財政調整基金に積み立てていくことが必要です。

6

これから先も藤沢市の財政は本当に大丈夫なの？

1 総合的には全国的に見ても健全財政を保っているのはわかったけど、これから先、将来も本当に大丈夫なの？

これからの藤沢市のまちづくりでは、地震や津波発生時などの防災・減災対策や公共施設の老朽化対策など、数多くの事業が計画されています。これらの事業を実施していくためには多くの財源が必要となりますが、歳入の根幹をなす市税収入は、平成28年度予算では法人市民税の減収などにより減少を見込んでおり、今後についても経済情勢や税制改正など不確定要素はあるものの、中長期的には横ばい傾向或いは減少傾向で推移すると予測しており、財源確保がとても大きな課題です。



●市税収入の推移



※H19年度～H26年度は決算額 ※H27年度は最終予算額、H28年度は当初予算額

歳出面でも扶助費の増大により厳しい財政運営が中長期的に見込まれる状況にあります。このため、緊急性・重要性の高い施策を優先させるなど、事業の重点化・効率化を進める必要があります。さらに、公共施設の老朽化対策や新たな都市基盤整備等の課題事業については、長期的な視点での財政負担も考慮しつつ、最も経済的・効果的な整備手法を用いるなど、しっかりとした財政運営を行っていかねばいけません。

2 これから多くの公共工事をして大丈夫なの？

藤沢市では、建て替え工事中の新庁舎整備のほか、今後も公共施設の老朽化対策や都市基盤整備等、多くの事業を控えています。

それぞれの事業について国や県などからの補助金の確保を心がけるとともに、**基金への積立により将来への「備え」を行うなど、できる限り一般財源の削減に努めていきます。**

また、これらの施設は、長期にわたり活用していくものですので、前のページで説明しました市債を活用していき、単年度の負担の平準化を図ります。この市債という借金をする際、財政の健全性を判断する指標である**実質公債費比率**を注視しながら事業計画を立て健全性の維持を図っていきます。



7

財務書類4表でわかる 藤沢市の財政状況

1 地方公会計制度改革とは？

地方公会計制度改革とは、現在、藤沢市を含め多くの地方自治体が単式簿記・現金主義会計で作成している財務書類を、企業会計において使用されている複式簿記・発生主義会計(*)に基づいて、全国の地方自治体が同じ基準で作成しようとする取り組みのことです。

※発生主義会計…お金のやり取りの原因となる事実が発生した日を基準にしたもので、これからの支払いや受け取りの予定が決まっているお金の状況なども明らかになります。



Q どうして公会計の改革が必要なの？



A

現在の制度では、ストック情報やコスト情報が不足しているといわれています。ストック情報とは行政サービスを実施する上で市が持っている全ての資産や負債などの財産情報です。コスト情報は行政サービスの提供に必要な総費用の情報です。これらの情報を十分に開示するためには、公会計の改革が必要なのです。



Q 具体的にはどのようなことをしていくの？



A

平成27年1月に、国から全国統一基準による財務書類を作成するよう要請が出されたのを受け、藤沢市では、平成27年度からの3年間で公会計改革を行い、平成29年度には新しい基準で財務書類を作成する予定です。そのため平成27年度から、道路、公園といったインフラ資産やソフトウェアなど原則として全ての固定資産を対象に調査を行い、固定資産台帳の整備を始めています。そして固定資産台帳におけるストック情報を基に財務書類4表の1つである貸借対照表を作成していきます。



↑ 貸借対照表って何だろう？

貸借対照表は「ある一時点において市がどのような資産を持っているか、また、その資産をどのように手に入れたか」を表すもので、ストック情報について確認することができます。



これまでの会計では見えなかった資産についての情報はこの表によって確認できます。

資産の部 1 公共資産 ● 土地、建物 ● 売却可能資産 2 投資等 ● 投資及び出資金 ● 貸付金 3 流動資産 ● 現金預金 計 〇〇〇円	負債の部 1 固定負債 2 流動負債 計 〇〇〇円 純資産の部 1 国・県補助金等 2 一般財源等 計 〇〇〇円
---	---

資産の部では、市が持っている道路や学校などの「今の価値」をお金で表しています。

左側の下には資産の部の合計があります。これが藤沢市の資産の合計となります。



貸借対照表の右側(負債の部、純資産の部)では、資産をどのように手に入れたのかを示しています。



負債の部と純資産の部は、資産をどのように手に入れたのかを財源ごとに一覧にしたものです。

資産の部 1 公共資産 ● 土地、建物 ● 売却可能資産 2 投資等 ● 投資及び出資金 ● 貸付金 3 流動資産 ● 現金預金 計 〇〇〇円	負債の部 1 固定負債 2 流動負債 計 〇〇〇円
	純資産の部 1 国・県補助金等 2 一般財源等 計 〇〇〇円

負債とは地方債など、将来現金が出ていくことを表しているもので、将来世代の負担といえます。

純資産とは市税や国・県からの補助金などで、現在までの世代の負担といえます。



では、コスト情報はどこで知ることができるの？

行政コスト計算書は、市が提供した行政サービスにどれだけ費用(コスト)がかかり、それをどのような収入でまかなったのかを表すもので、コスト情報について確認することができます。



人にかかるコストや物にかかるコストなど、その性質によって4種に分類しています。下には市の行政コストの合計額があります。

保育料、住民票の写しの発行手数料などの集計です。

市税や国・県からの補助金などです。

①経常行政コスト 人にかかるコスト 物にかかるコスト 移転支出的なコスト その他のコスト 計 〇〇〇円
②経常収益 使用料・手数料 分担金・負担金・寄付金 計 〇〇〇円
③純経常行政コスト (①-②)

計算書の上段①は行政サービスに要したコスト全体を表しています。

中段②はサービスを利用した方が支払う使用料や手数料などを表しています。

下段③は、コスト全体から、使用料など行政サービスを利用した方の負担額を差し引いた額を示しています。

②を①で割ると行政サービスを利用している人が負担している割合がわかります。残りの割合は市税などでまかなわれています。



公会計改革によってストック情報、コスト情報が明らかになると、より正確に財政状況を把握することができます。

公会計改革を推進し、複式簿記・発生主義会計を取り入れると、現金主義会計では見えにくかったコスト情報、ストック情報を総体的・一時的に把握することができ、全国統一基準で作成した財務書類を利用すれば、他の地方自治体とより正確な比較ができるようになります。さらに将来的には、市民の皆さんに関わりの深い事業別や施設別の財務書類を作成することにより、市の財政状況や施策の情報をよりわかりやすく説明できるようになります。

また公共施設の老朽化対策や予算編成時などにも活用し、より効率的な市政運営が行えるよう努めていきます。

2 藤沢市にはどのくらいの資産があるのだろうか？

貸借対照表を見れば、藤沢市の資産、負債、純資産が一目でわかります。
資産、負債、純資産の割合を円グラフで表すと次のようになります。



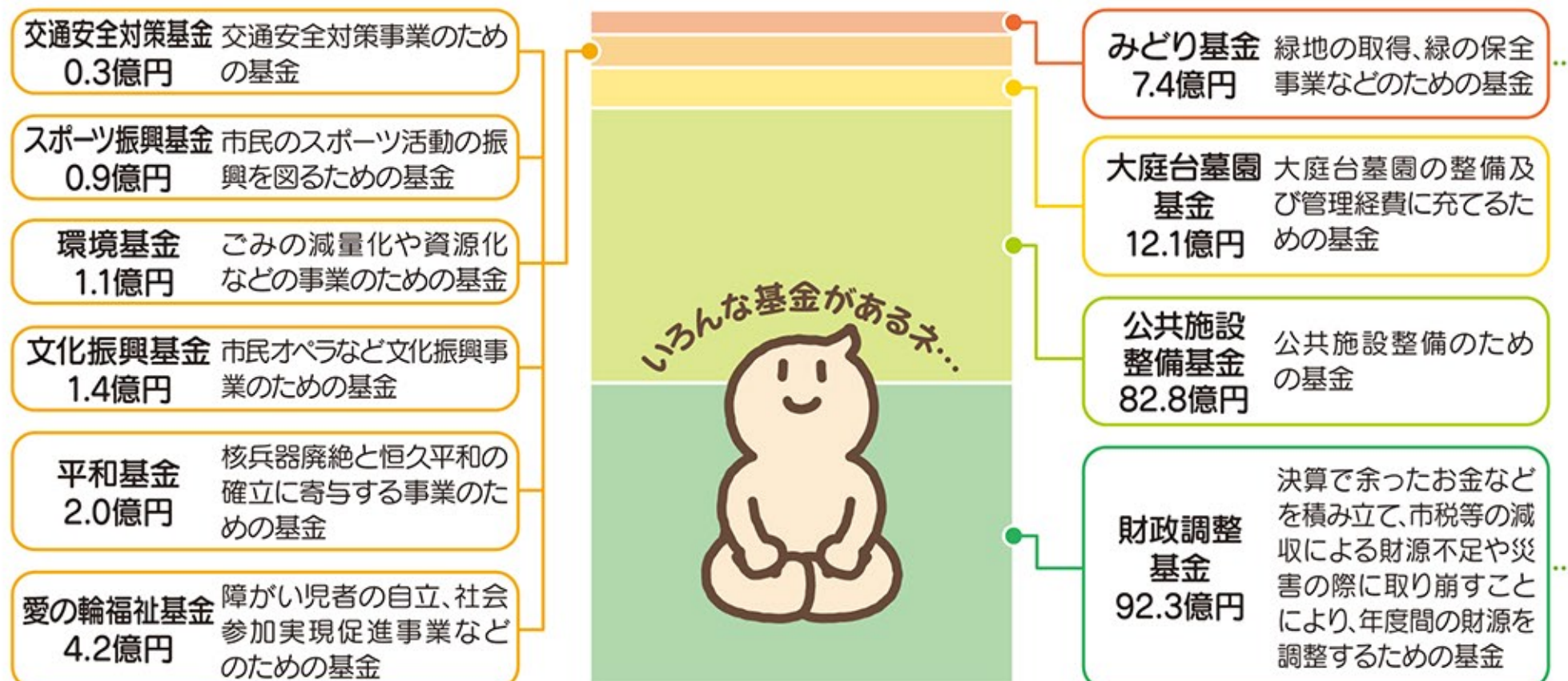
●平成26年度 藤沢市 普通会計 貸借対照表における資産・負債・純資産の割合



藤沢市の資産は、これまでの世代の負担(純資産)によって築かれたものが大部分を占めていることがわかります。
将来世代の負担となる負債は、資産に対して6.8%となっています。
資産の中には、これまで積み立ててきた市の貯金ともいえる基金があります。
基金には寄附金や基金運用利子などを積み立て、それぞれの基金の目的に応じた事業に使います。



●平成26年度 藤沢市 普通会計 基金残高



市が持っているすべての資産や負債などのストック(財貨の貯蔵量)の状況を表したものが貸借対照表です。

貸借対照表の左側(借方)には資産が、右側(貸方)の上部には資産の取得のために借り入れた借金などの負債が、右側(貸方)の下部には、借金以外の資産取得の財源である純資産がそれぞれ表示されます。



資産 = 負債 + 純資産

●平成26年度 藤沢市 普通会計貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

	借 方	貸 方	
土地、建物、構築物、備品など	[資産の部]	[負債の部]	借り入れた市債のうち翌々年度以降の償還予定額
有形固定資産のうち未利用資産で売却が可能なもの	1.公共資産 1兆4,452.0億円	1.固定負債 919.5億円	全職員が年度末に自己都合退職したと想定した場合の退職手当額最大どれくらいの額が必要か見るためのもの
下水道などの企業会計や市出資団体などに対する出資金	(1)有形固定資産 1兆4,441.1億円	(1)地方債 633.6億円	借り入れた市債のうち翌年度の償還予定額
みどり基金など特定目的基金の残高	(2)売却可能資産 10.9億円	(2)長期末払金 111.9億円	翌年度に支払うことが予定されている賞与のうち、26年度の勤務により発生する負担相当額
市税等の収入未済額のうち25年度以前に発生した分のうちの未収額	(2)投資等 560.3億円	(3)退職手当引当金 174.0億円	これまで資産や投資の取得財源として充てた額の累計
転居先不明等の理由で市税等の回収が困難であると見込まれる額	(1)投資及び出資金 433.2億円	(4)損失補償等引当金 -	市債のうち赤字債は資産の形成を伴わず、償還には今後の税金などを充てるため、この分は将来の一般財源が拘束されている。
財政調整基金 + 歳計現金	(2)貸付金 0.1億円	2.流動負債 113.7億円	資産を時価評価したことにより、取得時よりも資産価値が上がっていることを表している。
市税等の収入未済額のうち26年度に発生した分のうちの未収額	(3)基金等 112.2億円	(1)翌年度償還予定地方債 73.8億円	△表示はマイナスを表します。
	(4)長期延滞債権 21.3億円	(2)短期借入金 -	
	(5)回収不能見込額 △6.5億円	(3)未払金 11.4億円	
	3.流動資産 151.7億円	(4)翌年度支払予定退職手当 14.6億円	
	(1)現金預金 146.9億円	(5)賞与引当金 13.9億円	
	(2)未収金 4.8億円	負債合計 1,033.2億円	
	資産合計 1兆5,164.0億円	[純資産の部]	
		1.公共資産等整備国県補助金等 838.2億円	
		2.公共資産等整備一般財源等 5,605.7億円	
		3.その他一般財源等 △326.1億円	
		4.資産評価差額 8,013.0億円	
		純資産合計 1兆4,130.8億円	
		負債・純資産合計 1兆5,164.0億円	

●市民1人あたりの貸借対照表の値をしてみると

平成27年3月31日現在
藤沢市人口423,435人

市民1人あたりの有形固定資産
341万円

市民1人あたりの負債
24万4千円

3 純資産ってなんだろう？



純資産は、貸借対照表の右側(貸方)の下部に表示され、その左側(借方)の資産を取得する際の、負債以外の財源を表しています。

純資産額が前年度末(期首)に比べ、どのように変動したかを示したものが純資産変動計算書です。

●平成26年度 藤沢市 普通会計純資産変動計算書 〔自平成26年4月1日〕 〔至平成27年3月31日〕

	純資産合計	公共資産等 整備 国県補助金等	公共資産等 整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
期首純資産残高	1兆4,120.3億円	843.1億円	5,562.9億円	△316.1億円	8,030.4億円
純経常行政コスト	△1,128.6億円			△1,128.6億円	
一般財源					
地方税	798.5億円			798.5億円	
地方交付税	1.4億円			1.4億円	
その他行政コスト充当財源	83.5億円			83.5億円	
補助金等受入	272.7億円	19.8億円		252.9億円	
臨時損益					
災害復旧事業費					
公共資産除売却損益	0.4億円			0.4億円	
投資損失					
損失補償等引当金繰入等					
科目振替※					
公共資産整備への財源投入			61.2億円	△61.2億円	
公共資産処分による財源増			△0.2億円	0.2億円	
貸付金・出資金等への財源投入			77.3億円	△77.3億円	
貸付金・出資金等の回収等による財源増			△34.2億円	34.2億円	
減価償却による財源増		△24.7億円	△111.0億円	135.7億円	
地方債償還に伴う財源振替			49.7億円	△49.7億円	
資産評価替えによる変動額	△21.3億円				△21.3億円
無償受贈資産受入	3.9億円				3.9億円
その他					
期末純資産残高	1兆4,130.8億円	838.2億円	5,605.7億円	△326.1億円	8,013.0億円

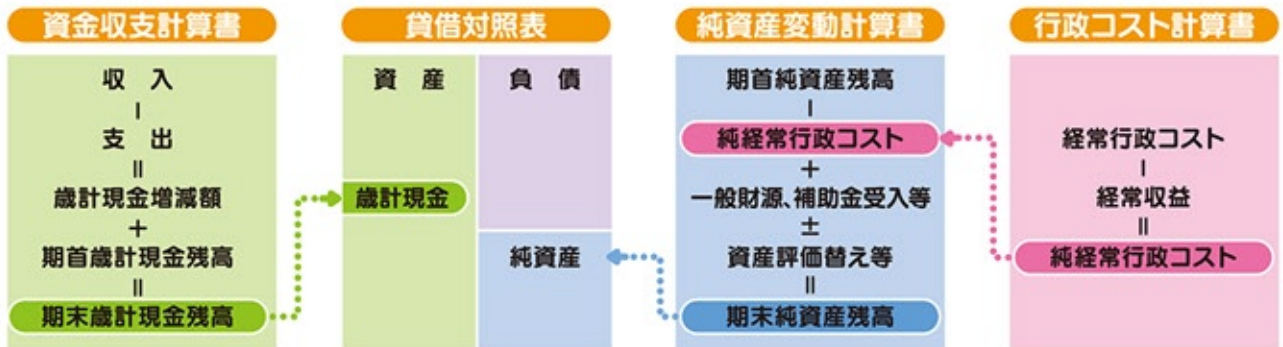
行政コスト計算書の(差引)純経常行政コストの額と一致

扶助費などに充てた国県補助金

資産を時価評価した結果、取得時よりも資産価値が増減することにより、その分純資産額も増減する。

※科目振替とは、公共資産等整備と一般財源の間でそれぞれに充てた財源の原因別の変動を示しています。「地方債償還に伴う財源振替」は、公共資産等整備のための市債の返済を一般財源でおこなったため、「公共資産等整備一般財源等」へ振替えるものです。

●財務書類4表の関連



財務書類の4表には、次のような相互関係があります。

貸借対照表の純資産は純資産変動計算書の期末残高と一致し、貸借対照表の歳計現金は資金収支計算書の期末残高と一致し、行政コスト計算書の純経常行政コストは純資産変動計算書のそれとそれぞれ一致します。

★資産老朽化比率

土地を除く有形固定資産合計額に対する減価償却累計額の割合を算出することにより、その資産が平均どの程度の年数が経過しているのかを表しています。

以下の5市の中では、藤沢市の施設が最も老朽化が進んでいることがわかります。

藤沢市	茅ヶ崎市	鎌倉市	秦野市	厚木市
55.4%	51.7%	50.8%	50.9%	53.6%



★受益者負担比率

経常収益は市民のみなさんが支払う使用料や手数料などの受益者負担金の総額です。行政コストに対する割合を算出することにより、受益者負担の割合を表しています。

経常収益では経常行政コストの4.6%しかまかなえていないことがわかります。

しかし、藤沢市ではごみの有料指定袋制などが導入されていることなどから、他市に比べて比率が高くなっています。

藤沢市	茅ヶ崎市	鎌倉市	秦野市	厚木市
4.6%	3.4%	3.5%	3.1%	3.5%



★市の決算と財務書類のちがいは



現在、市の決算は現金ベースです。お金が入ってきて収入となり、お金が出ていって支出となります。

入ってきたお金を支出に充てるため、収入と支出は同じ額となります。

貸借対照表では、土地や建物などの資産がどのくらいあるか、債権がいくらあってそのうち現金化されたものがどのくらいあるか、借金が全体でどのくらいあって、いくら残っているかなど、財務書類では全体の財政状況がわかるようになります。

全体の債権額と実際に現金化された額(収入済額)との差額は、貸借対照表では未収金となり、その後現金が入ることによって未収金が減っていくこととなります。

4 藤沢市の行政サービスにはどのくらいのコストがかかっているのだろう？



ごみの収集や福祉サービスの提供など資産の形成に結びつかない行政サービスにどれだけ費用(コスト)がかかり、それをどのような収入でまかなったかを表すものが行政コスト計算書です。

●平成26年度 藤沢市 普通会計行政コスト計算書

〔自平成26年4月1日 至平成27年3月31日〕

【経常行政コスト】

		総額	構成比率
<p>貸借対照表に計上した退職給与引当金の前年度からの増減額に26年度の退職手当を加算したもの</p>	(1)人件費	218.4億円	18.5%
	(2)退職手当引当金繰入等	4.2億円	0.3%
	(3)賞与引当金繰入額	13.9億円	1.2%
	小計	236.5億円	20.0%
<p>市の施設等を老朽化などにより補修する経費</p>	(1)物件費	210.4億円	17.8%
	(2)維持補修費	12.1億円	1.0%
	(3)減価償却費	135.7億円	11.5%
	小計	358.2億円	30.3%
<p>扶助費などの経費</p>	(1)社会保障給付	341.0億円	28.8%
	(2)補助金等	55.1億円	4.7%
	(3)他会計等への支出額	167.1億円	14.1%
	(4)他団体への公共資産整備補助金等	10.3億円	0.9%
	小計	573.5億円	48.5%
<p>個人や団体等の活動に対して交付する補助金など</p>	(1)支払利息	9.9億円	0.8%
	(2)回収不能見込計上額	4.3億円	0.4%
	(3)その他行政コスト	0億円	0.0%
	小計	14.2億円	1.2%
<p>市債の支払利息</p>	経常行政コスト a	1,182.4億円	

【経常収益】

使用料・手数料 b	37.4億円
分担金・負担金・寄附金 c	16.4億円
経常収益合計 (b + c) d	53.8億円
d / a	4.6%
(差引)純経常行政コスト a-d	1,128.6億円

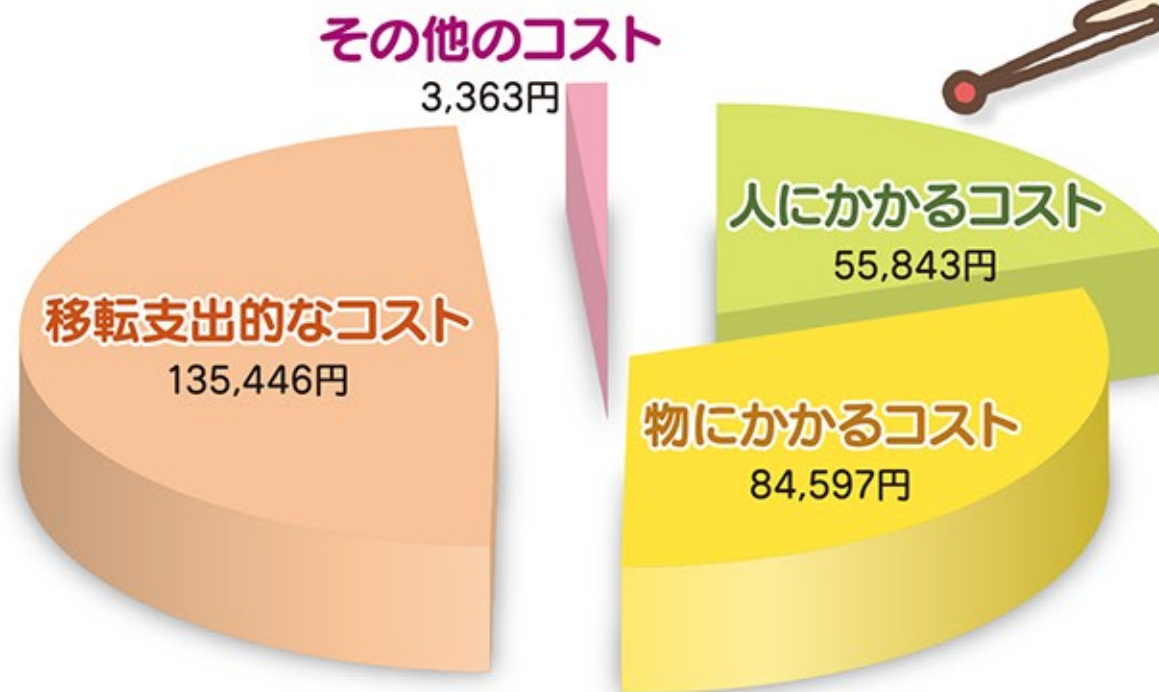


差引の「純経常行政コスト」は、市税などの一般財源や国県からの補助金などでまかっています。

さて、市民1人あたりの行政コストはどのくらいかかっているでしょうか。下のグラフを見てください。



●平成26年度 藤沢市 普通会計 行政コスト計算書
における市民1人あたりの経常行政コスト



市民1人あたりの
経常行政コスト
合計 279,249円

5 市の財産のうち現金の動きを見てみよう

貸借対照表の左側(借方)、資産の部に計上されている現金をその支出の性質から3つに分けて、現金の変動を表すものが、資金収支計算書です。

資金収支計算書は、引当金や減価償却費などの現金でない支出を含まないことから、ほかの財務書類と違い、現金のみの表示となっています。市の決算書に一番近い財務書類といえます。



●平成26年度 藤沢市 普通会計資金収支計算書

〔自 平成26年4月 1日〕
〔至 平成27年3月31日〕

1. 経常的収支の部	
支出合計	1,004.3億円
収入合計	1,187.8億円
経常的収支額	183.5億円

翌年度繰上充用金増減額	-
当年度歳計現金増減額	△57.0億円
期首歳計現金残高	111.6億円
期末歳計現金残高	54.6億円

2. 公共資産整備収支の部	
支出合計	155.5億円
収入合計	80.7億円
経常的収支額	△74.8億円

3. 投資・財務的収支の部	
支出合計	190.4億円
収入合計	24.7億円
投資・財務的収支額	△165.7億円



期末は年度末をさし、それに対して年度初めのことを期首といいます。

公共資産整備収支と投資・財務的収支は赤字となっており、その赤字分を経常的収支の黒字分で補っていることがわかります。

ホームページで
ご覧ください 「藤沢市の借金時計」



❓ 「借金時計」って一体どんな時計？

自治体の借金残高が1秒単位にどう変わっていくのかをデジタル時計のように表示したものを「借金時計」といいます。

インターネットでは、「日本の借金時計」や「地方公共団体の借金時計」などを見ることができます。



藤沢市のホームページにて公開していますので、
みなさん是非一度ご覧ください！

藤沢市の市債（借金）の残高

2016 年 3 月 3 日 17 時 51 分 26 秒 現在

1362 億 **547** 万 **9867** 円 **35** 銭 です。

2種類の表示ができます。表示したい項目を選択してください。

全会計（一般会計＋特別会計＋企業会計） 一般会計

会計の種類は、家計の収支では以下のように例えることができます。

- 一般会計：生活費に使うお金
- 特別会計：教育資金など区別して使うお金
- 企業会計：生活費と切り離している商売のお金

一時間あたり、約 **29** 万 **2998** 円 増えていきます。

一秒あたり、約 **81** 円 増えていきます。

- [借金時計のこまかい内訳 \(PDF: 33KB\)](#)
- 参考: [年度別市債借入・償還及び残高の状況 \(一般会計\) \(PDF: 41KB\)](#)

一般会計は平成27年度の返済額が借入額を上回るため、年度末残高は減少し、時間が進むほど残高が減る計算となります。

しかしながら、市民病院の再整備などに伴う企業会計借入額の増加により、全会計の平成27年度の返済合計額が借入合計額を下回るため、一般会計とは逆に時間が進むほど残高が増える計算となります。

アクセスは、藤沢市ホームページ > 市政情報 > 予算・財政 > 借金時計 > 藤沢市借金時計

URLは<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/zaisei/shise/yosan/shakkindoke/shakkindoke.html>

または「藤沢市借金時計」をキーワードにして検索するとご覧になれます。

藤沢市借金時計

検索

わかりやすい 藤沢市の財政2016

平成28年度予算と平成26年度決算のデータ使用により作成
2016年3月 発行

発行／藤沢市財務部財政課

〒251-8601 藤沢市朝日町1-1

電話 0466-25-1111(代表) 内線2302

FAX 0466-50-8405

E-mail zaisei@city.fujisawa.kanagawa.jp

再生紙を使用しています

※各ページの表中の数値について、その積み上げと合計が一致しないところがあります。

ふじさわの
財政のこと、もっと
理解しなきゃ...

